

加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査について

1. 実態調査の趣旨

2010年度から2019年度までの10年計画として「加美町スポーツ振興基本計画」を策定し、加美町生涯スポーツ振興を進めてきました。

今回、この計画の進行状況を検証し「第二次加美町スポーツ振興基本計画」策定の参考とするため、加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査を実施した。

2. 実態調査の概要

令和元年5月末より7月末までの期間、加美町に居住する20歳以上2,000人（令和元年6月末現在の20歳以上の町民19,690人の約10%）を調査対象者として実態調査を実施。

3. 実態調査対象者の抽出方法及び回収率

①各行政区調査対象者を「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳以上」の年代ごと8人から18人無作為に、1,000人（男女ほぼ半数）を抽出。

②スポーツ推進委員、生涯スポーツ普及員、町内スポーツ関係団体、各地区公民館、各地区体育館の協力を得て1,000人を抽出。

③調査対象者数2,000人、回収数1,020人、回収率51%。

4. 実態調査の配布回収方法

①各行政区調査対象者を無作為に抽出された方へ、直接送付し、郵便にて返送いただいた。

②生涯スポーツ普及員より各行政区の実態調査対象者へ直接調査用紙を配布していただき、調査対象者から郵便で返送いただいた。

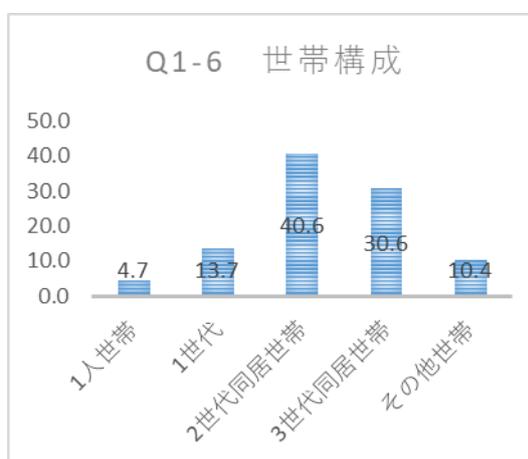
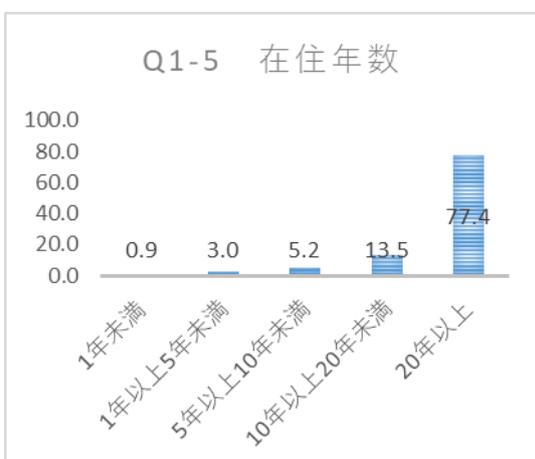
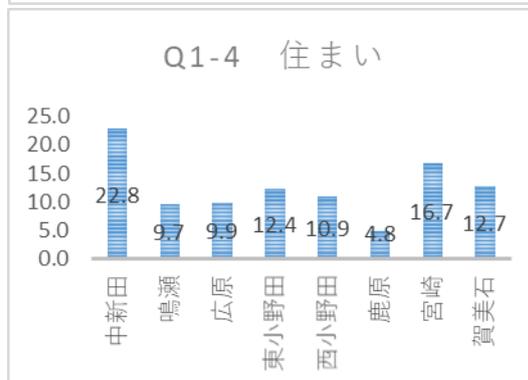
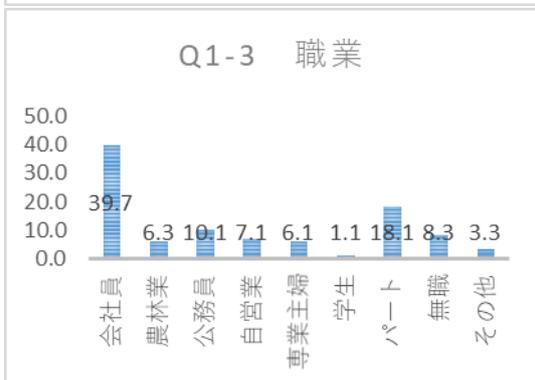
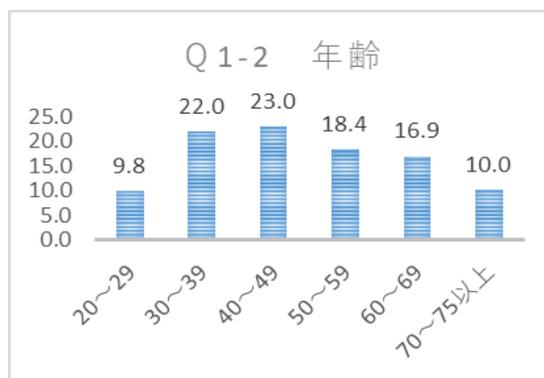
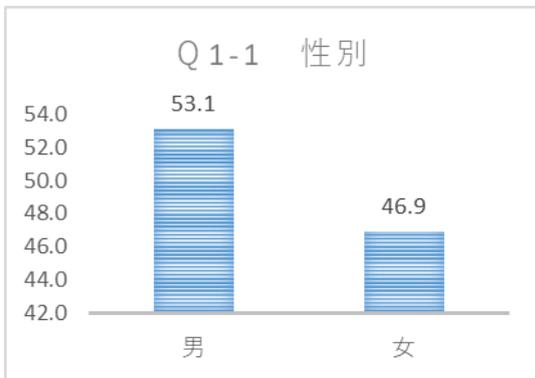
③スポーツ推進委員、町内スポーツ関係団体、各地区公民館、各地区体育館の協力得て、実態調査対象者へ直接調査用紙を配布してもらい、回収していただいた。

5. 実態調査の集計・分析等

返送された実態調査を仙台大学に送り、仙台大学にて集計及び分析を行った。また、データ処理結果に基づき、スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（平成29年度）及び前回実施した町民アンケート調査と比較し、仙台大学講師荒牧亜衣氏にコメントを求めました。

I. 回答者属性

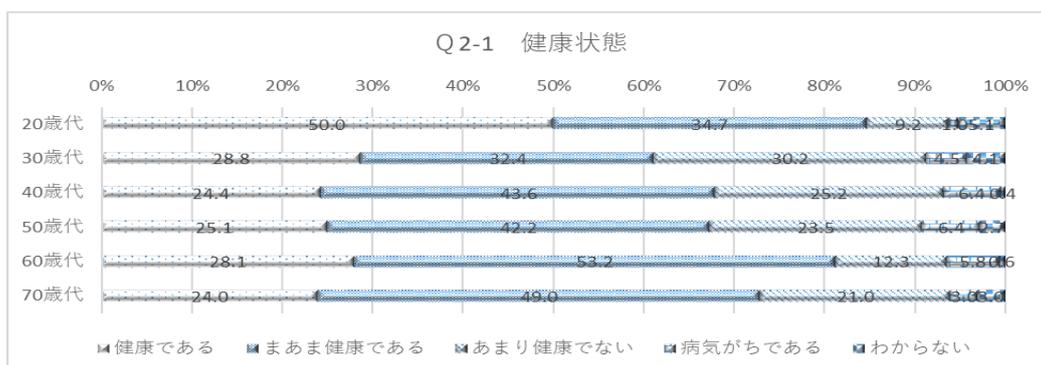
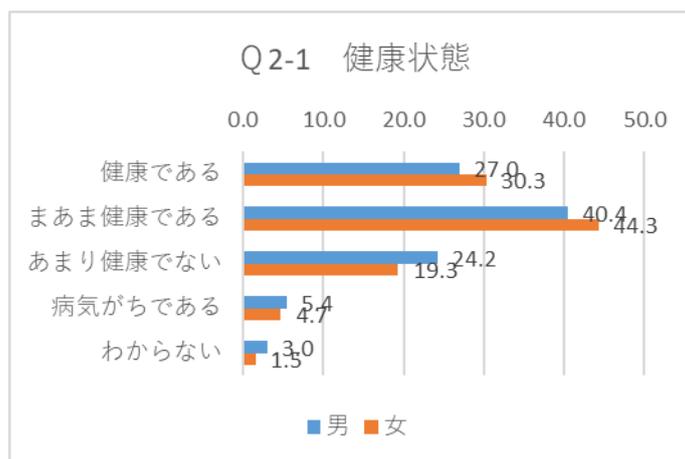
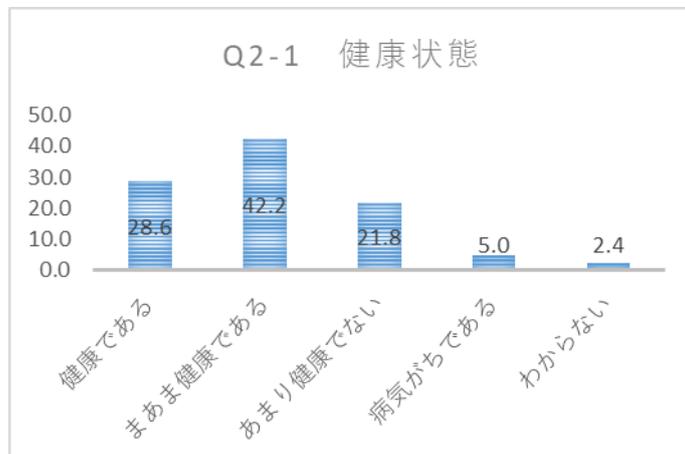
回答者の基本属性は、Q1-1 から Q1-6 の通りである。



II. 調査結果の概要

1. 健康・体力に関する意識について

(1) 現在の健康状態



最近健康だと思うかを聞いたところ、「健康である」との割合が 70.8%（「健康である」28.6%+「まあまあ健康である」42.2%）、「健康でない」との割合が 26.8%（「あまり健康でない」21.8%+「病気がちである」5.0%）となっている。

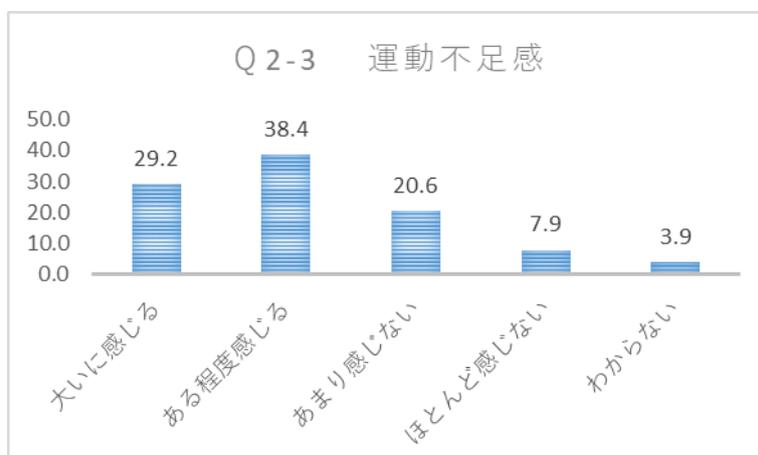
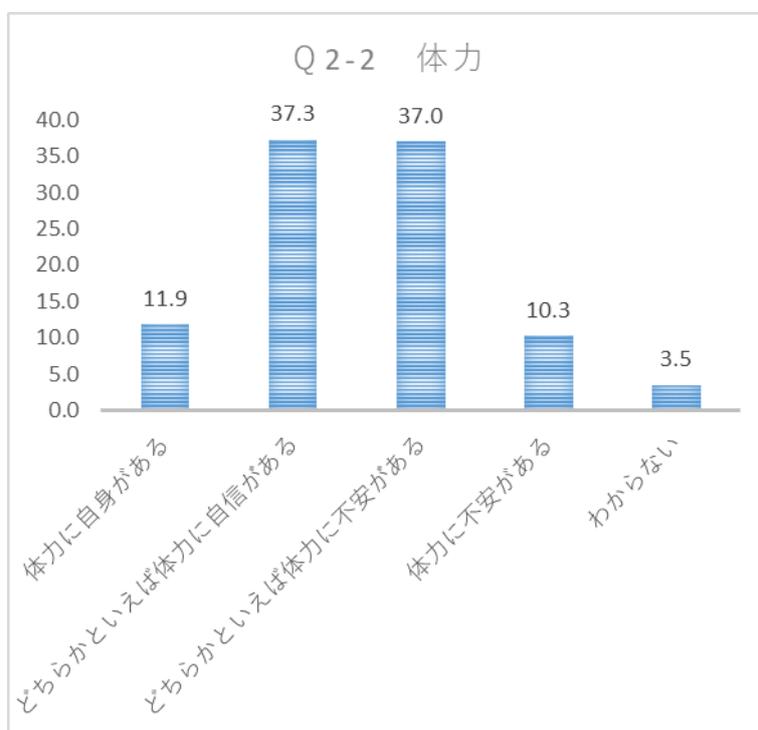
性別にみると、男性（「健康である」27.0%+「まあまあ健康である」40.4%）は「健康である」と挙げた割合が 67.4%に比べ、女性は 74.6%（「健康である」30.3%+「まあまあ健康である」44.3%）となっている。

健康である」44.3%)と「健康である」とする割合が高い傾向にある。

年代別にみると、年代が若い20代は「健康である」とする割合が84.7%（「健康である」50.0%+「まあまあ健康である」34.7%）と高く、逆に高年代の60代も81.3%と高い傾向にあるが、30代が61.2%、40代が68.0%、50代が67.3%とその間の年代の健康状態に不安がみられる。

「健康である」と挙げた割合が85%に達した前回調査時（平成19年度）に比べ、今回の調査では70.8%は低くなっている。

(2) (3) 体力の自信と運動不足感の有無

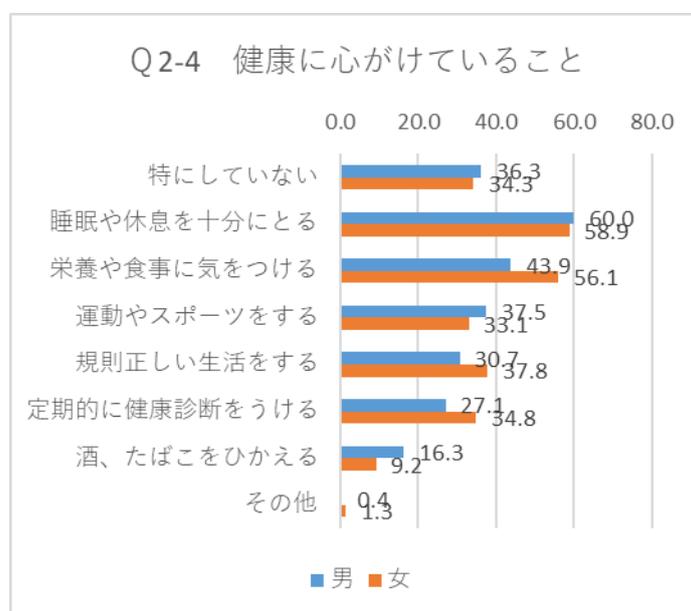
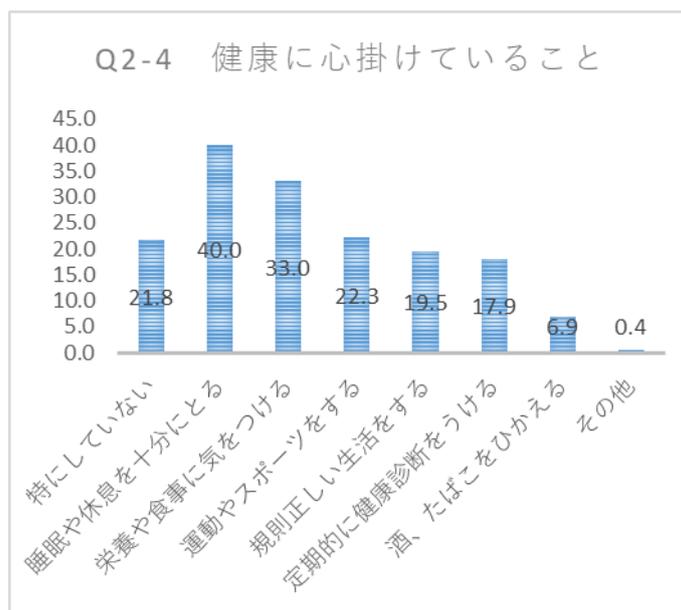


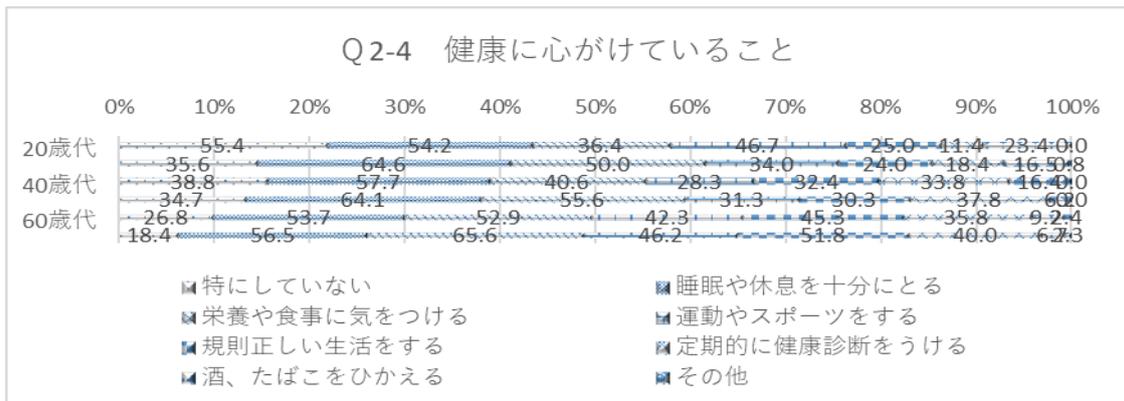
自分の体力についてどのように感じているか聞いたところ、「体力に自信がある」とす

る割合が 49.2%（「体力に自信がある」11.9%+「どちらかといえば体力に自信がある」37.3%）、「体力に自信を感じない」との割合が 28.5%（「体力にあまり自信を感じない」20.6%+「ほとんど感じない」7.9%）となっている。

全体として、「体力に自信がある」との割合が高くなっている。

(4) 健康に関して心掛けていること





健康に関して心掛けていることは何かと聞いたところ、「睡眠や休息を十分にとる」との割合が40.0%、「栄養や食事に気をつける」との割合が33.0%と、運動やスポーツをする割合より高い傾向がある。

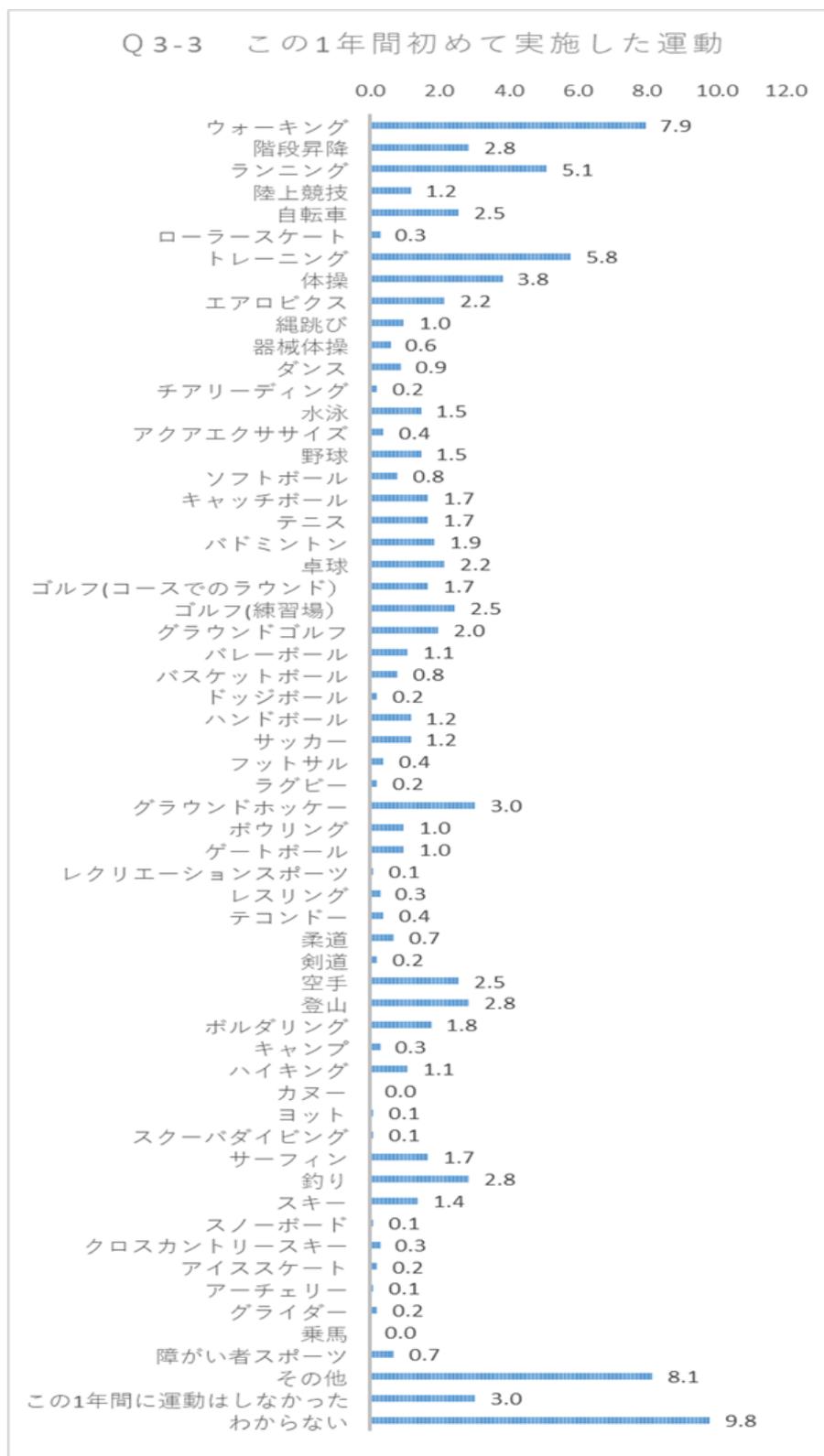
性別にみると、男性の「栄養や食事に気を付ける」を挙げる割合が43.9%に比べると、女性のほうが56.1%と栄養面に気を付けていることがわかる。

年齢別にみると、「特にしていない」と挙げた割合が18.4%と最も低かったのが、年代が若くなるにつれその割合が高くなっており、20代では55.4%となっている。

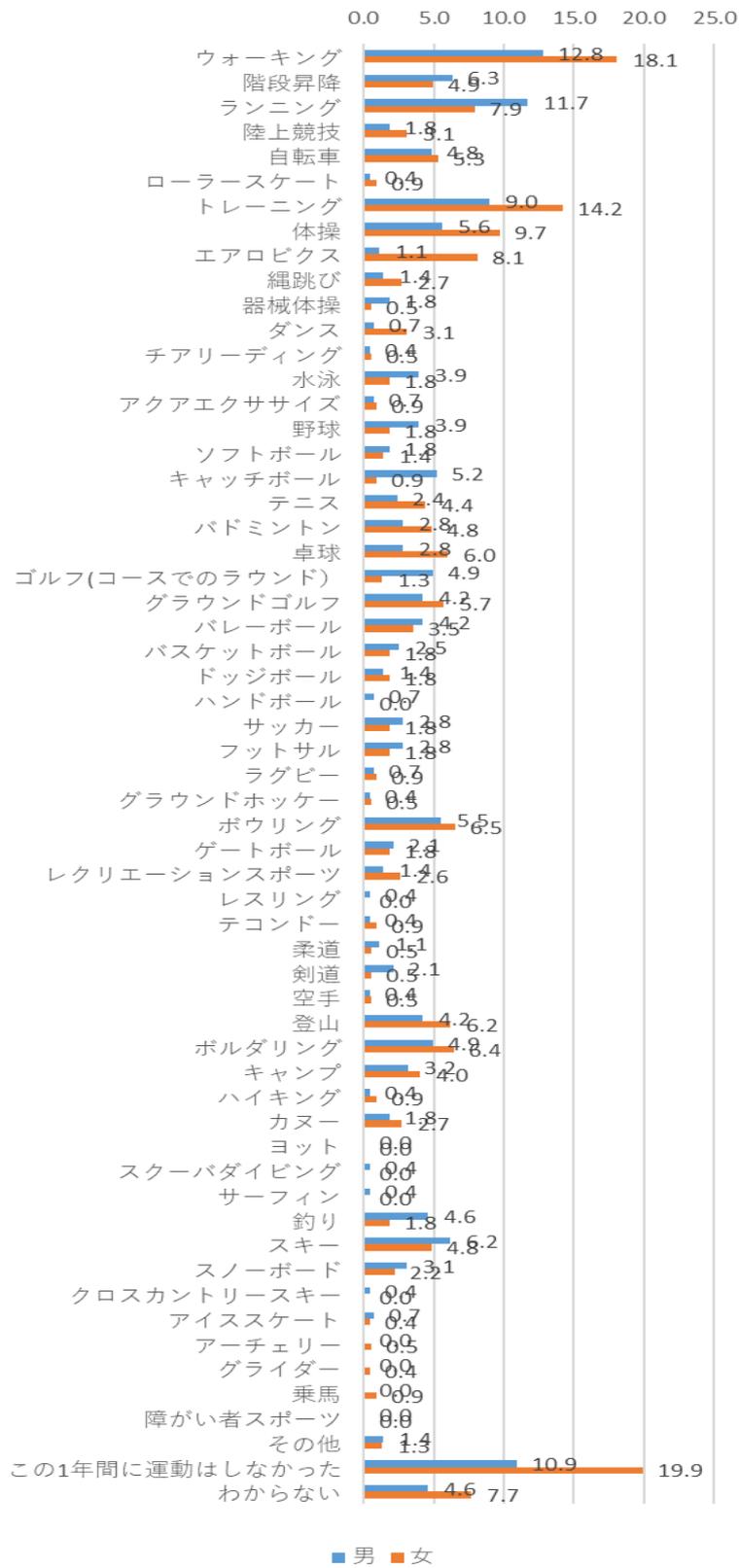
前回調査時においても、「睡眠や休息を十分にとる」との割合が34.9%、「栄養や食事に気をつける」が36.3%と高い割合となっており、今回の調査と同様の傾向にあったことがわかる。

2. 運動・スポーツの実施状況

(1) この1年間で行った運動・スポーツ



Q3-3 この1年間初めて実施した運動



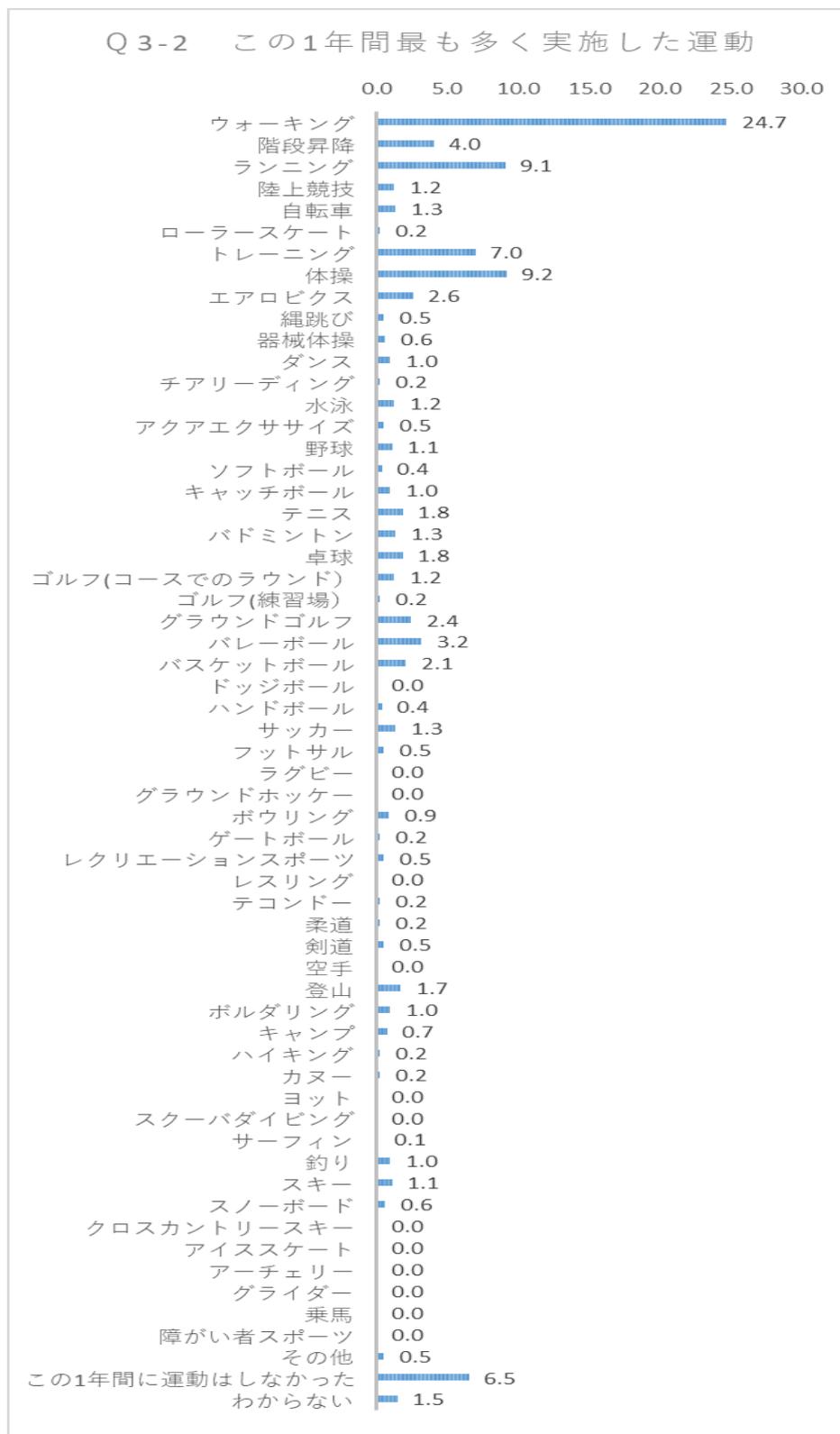
この1年間に行った運動やスポーツを聞いたところ、運動やスポーツについてなんらかの選択肢を挙げた者（以下、「運動やスポーツを行った者」と略す）の割合が91.0%、「運動やスポーツはしなかった」と答えた者の割合は9.0%（「この1年間に運動はしなかった」7.7%+「わからない」1.3%）となっている。

1年間に行った運動・スポーツの種目については、「ウォーキング」を挙げた者の割合が45.1%と最も高く、次いで「体操」（22.6%）、「トレーニング」（16.0%）の順となっており、どれも気軽に行えるものとなっている。この結果は、2019年に実施されたスポーツ庁による「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（以下、「2019年スポーツ庁世論調査」と略す）の結果と同様の傾向にある。

性別にみると、男性の「この1年間に運動をしなかった」と挙げた割合が10.9%に比べ、女性は19.9%と高い傾向にあるが、「ウォーキング」が18.1%、「トレーニング」が14.2%、「エアロビクス」が8.1%と男性より実施率が5%以上高いことがみられる。

前回調査時においても、男女ともに「ウォーキング」が最も行われている運動・スポーツ種目となっていた。

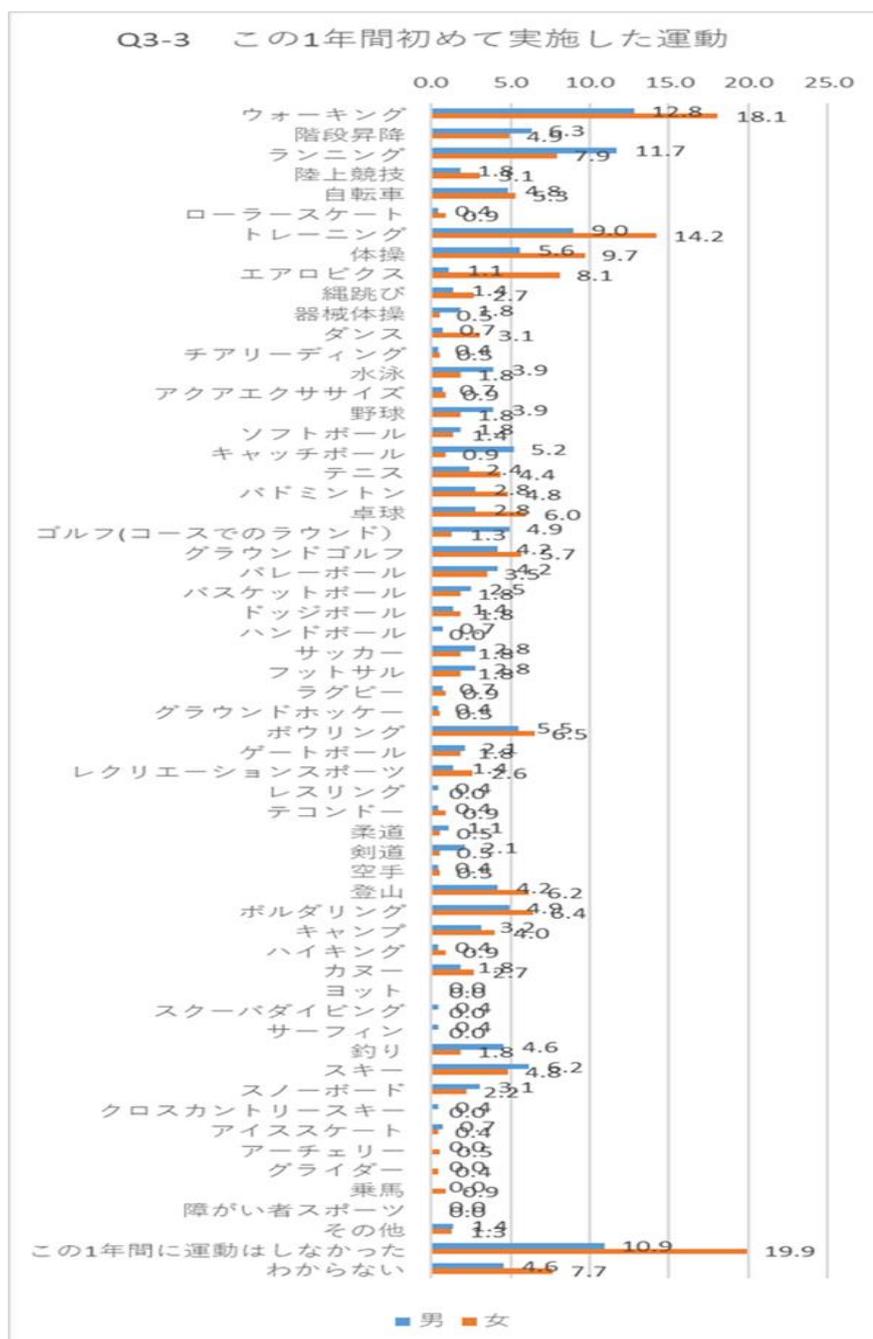
(2) 一年間で行った運動やスポーツのうち、特に多く実施した運動やスポーツ、好きな運動やスポーツ



この一年間で最も行った、もしくは、好きな運動やスポーツについて聞いたところ、「ウォーキング」24.7%、「体操」9.2%、「ランニング」9.1%と、どの運動も道具や場所を必要としないものとなっている。

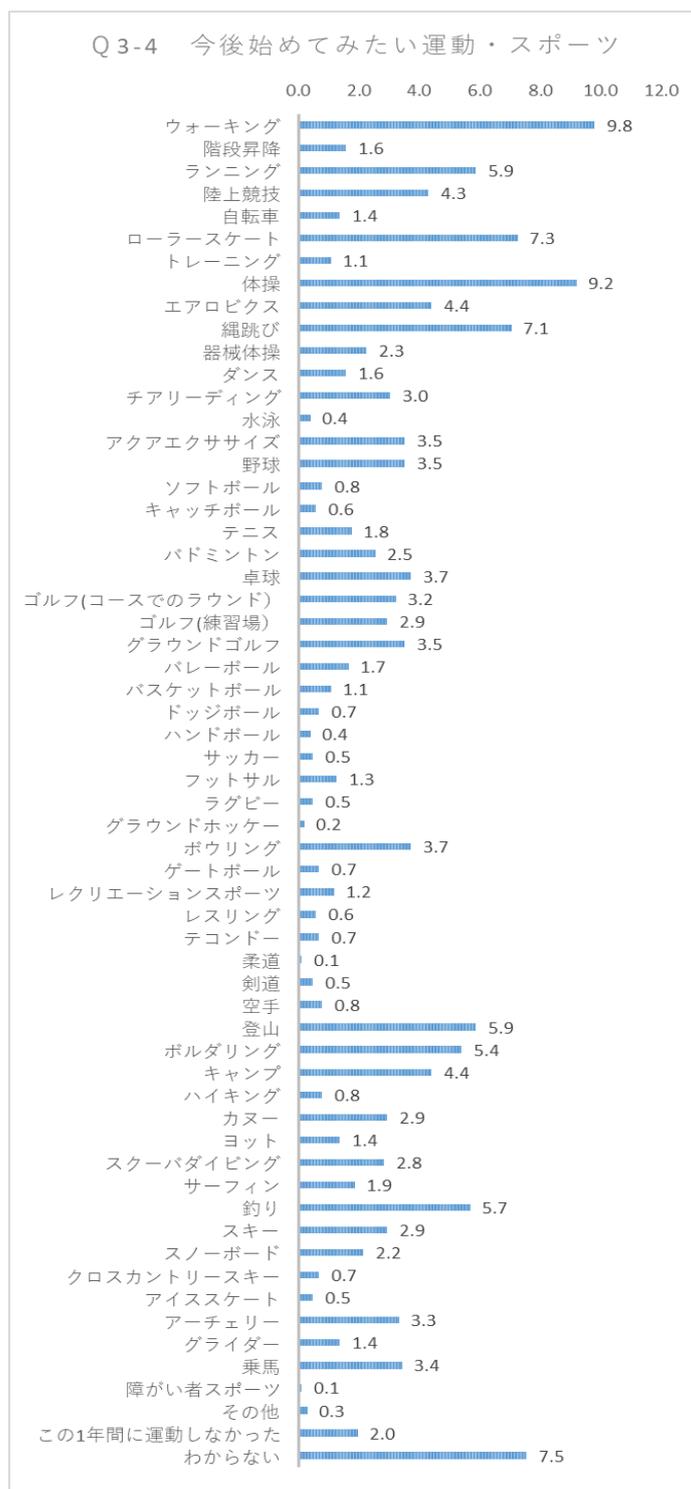
2019年スポーツ庁世論調査の結果と比較して、「ウォーキング」、「体操」、「トレーニング」の実施率が高い傾向にある。

- (3) この一年間、初めて実施した、もしくは久しぶり（5年以内）に再開した運動やスポーツ



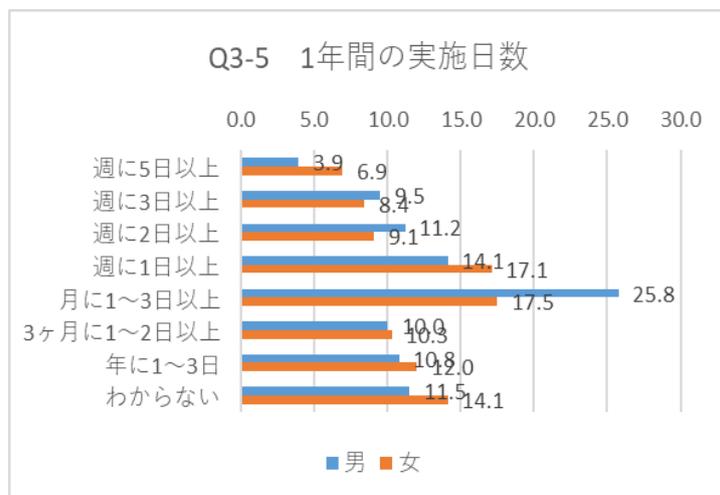
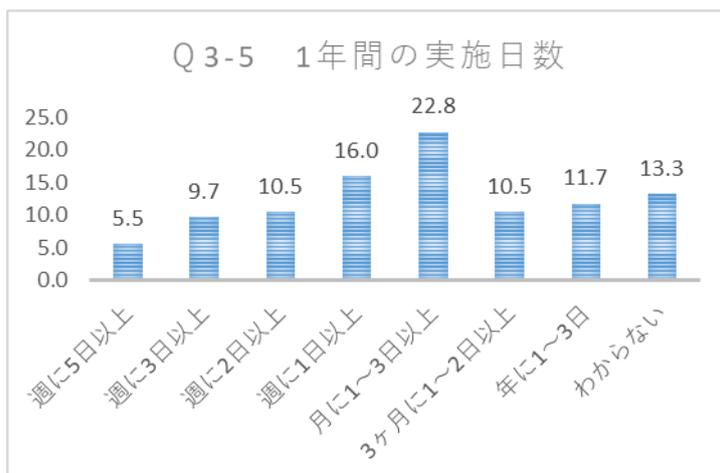
この一年間で初めて、もしくは久しぶりに再開した運動やスポーツを聞いたところ、「ウォーキング」、「ランニング」、「トレーニング」と気軽に行えるものの実施率が高くなっている。

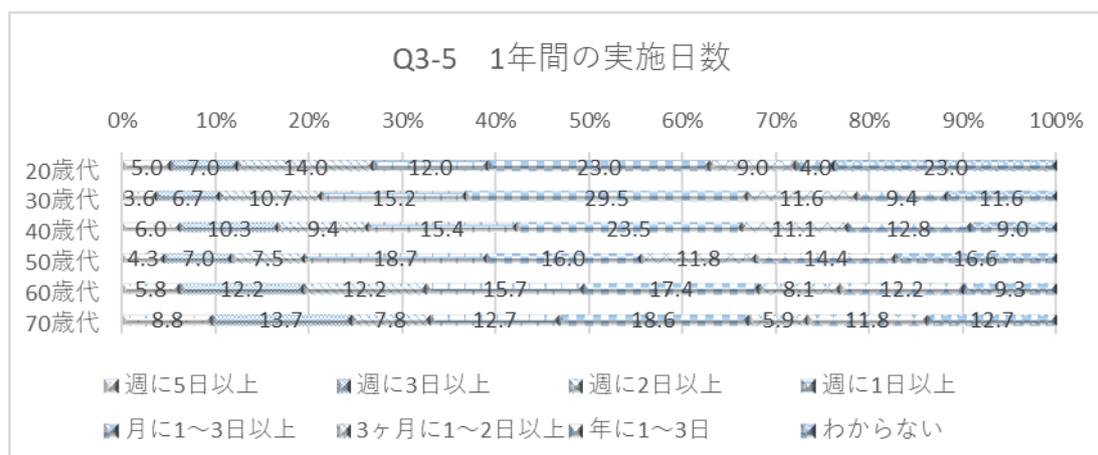
(4) 今後、始めてみたい運動やスポーツ



今後、はじめてみたい運動やスポーツについて質問したところ、「ウォーキング」と挙げた者の割合が9.8%と高く、次いで「体操」(9.2%)、「ローラースケート」(7.3%)、「縄跳び」(7.1%)となっている。また、「登山」や「ボルダリング」の割合も高くなっていることがわかる。

(5) この一年間に運動やスポーツを実施した日数





この一年間に運動やスポーツを実施した日数について聞いたところ、週に1日以上と回答した割合は41.7%（「週に5日以上」5.5%+「週に3日以上」9.7%+「週2日以上」10.5%+「週に1日以上」16.0%）となっている。これは、2019年スポーツ庁世論調査の結果（55.3%）に比べ、低い割合となっている。

性別にみると、週1日以上の運動実施率は男性の38.7%（「週に1日以上」14.1%+「週に2日以上」11.2%+「週に3日以上」9.5%+「週に5日以上」3.9%）より女性の41.5%（「週に1日以上」17.1%+「週に2日以上」9.1%+「週に3日以上」8.4%+「週に5日以上」6.9%）のほうが高くなっている。

年代別にみると、「週に1日以上」と挙げる割合が20代では38.0%、40代では41.1%、60代では45.9%と年代が高くなっていくに比例して実施率も高くなっている。週1日以上の運動実施率は20代から50代が著しく低く、60代を底に高年代ほど高くなる傾向がある。

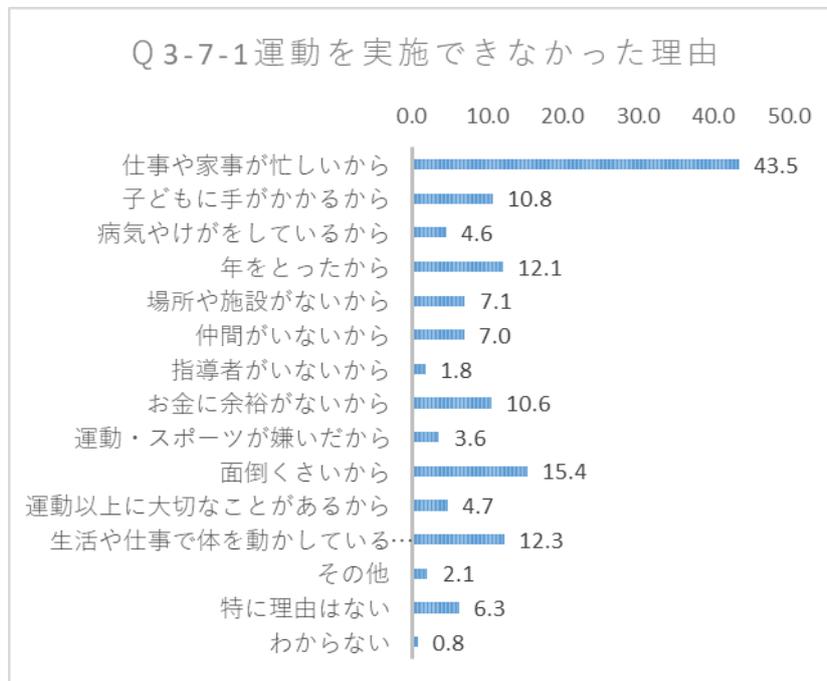
(6) この一年間で、初めてまたは久しぶりに運動やスポーツを再開したきっかけ



この一年間で、初めてまたは久しぶりに運動やスポーツを再開し行うようになったきっかけに関しては、家族友人等に誘われたという割合が32.1%（「家族に誘われた」13.2%+「友人等に誘われた」18.9%）と高い割合となっている。また、家族友人等に奨められたという割合が22.4%（「家族に奨められた」3.2%+「友人に奨められた」6.6%+「医師に奨め

られた」2.8%+「所属する団体に奨められた」5.2%）となっている。

(7) 週1日以上、運動やスポーツが実施できなかった理由

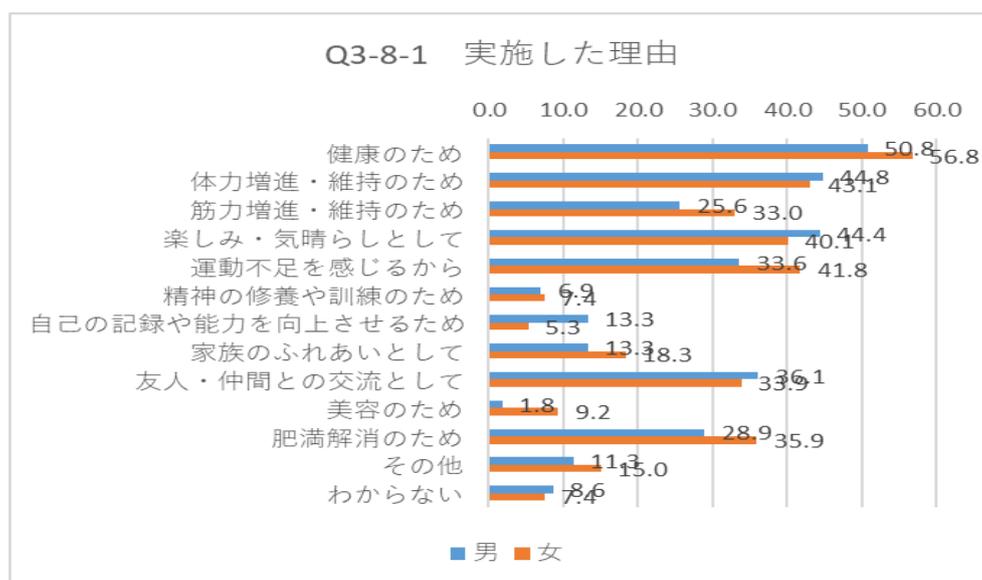
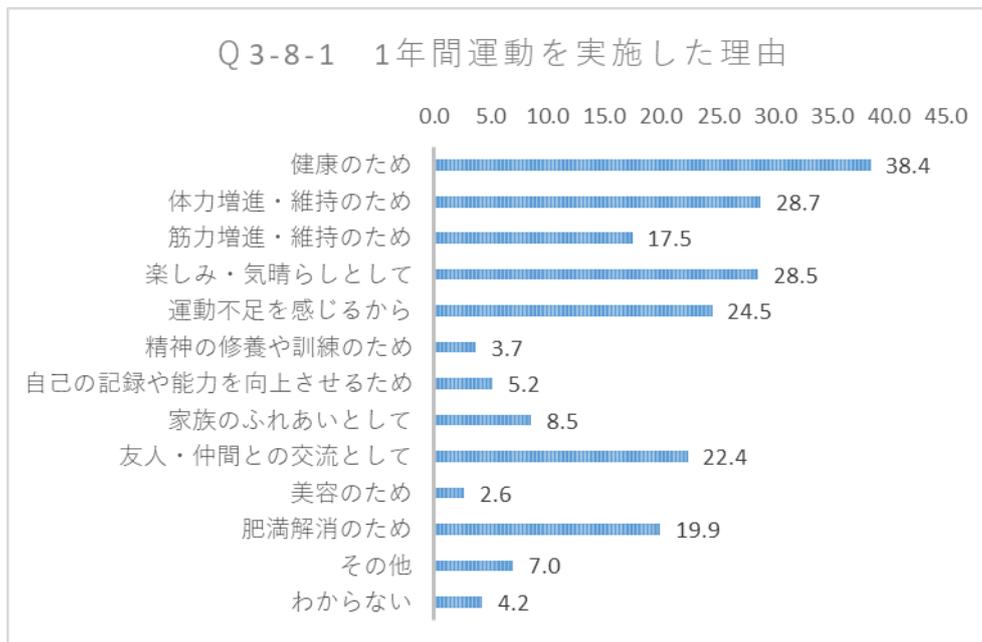


週1日以上、運動やスポーツが実施できなかった理由について質問したところ、「仕事や家事が忙しいから」を回答した者の割合が43.5%と最も高く、次いで「面倒くさいから」(15.4%)、「生活や仕事で体を動かしているから」(12.3%)、「年をとったから」(12.1%)の順となっている。

2019年スポーツ庁世論調査におけるスポーツ実施阻害要因としても、「仕事や家事が忙しいから」という割合(45.1%)が最も高く、次いで、「面倒くさいから」(28.4%)となっている。スポーツ実施阻害要因は、2019年スポーツ庁世論調査の結果と同様の傾向があることがわかる。

年代別にみると、20代を底に30代、40代と「仕事や家事が忙しいから」という理由から運動の実施率が低くなっている。

(8) この一年間に、あなたが運動やスポーツを実施した理由



この一年間に、運動やスポーツを実施した理由について質問したところ、「健康のため」と回答した者の割合が38.4%で最も高く、次いで「体力増進・維持のため」(28.7%)、「楽しみ・気晴らしとして」(28.5%)、「運動不足を感じるから」(24.5%)、「友人・仲間との交流として」(22.4%)の順となっている。「肥満解消」(19.9%)や「筋力増進・維持」(17.5%)といった項目も平均より高い割合となっている。

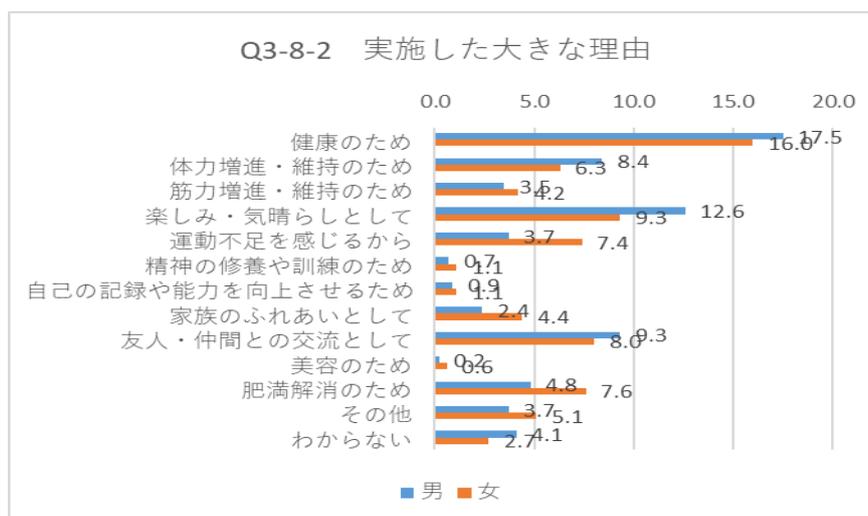
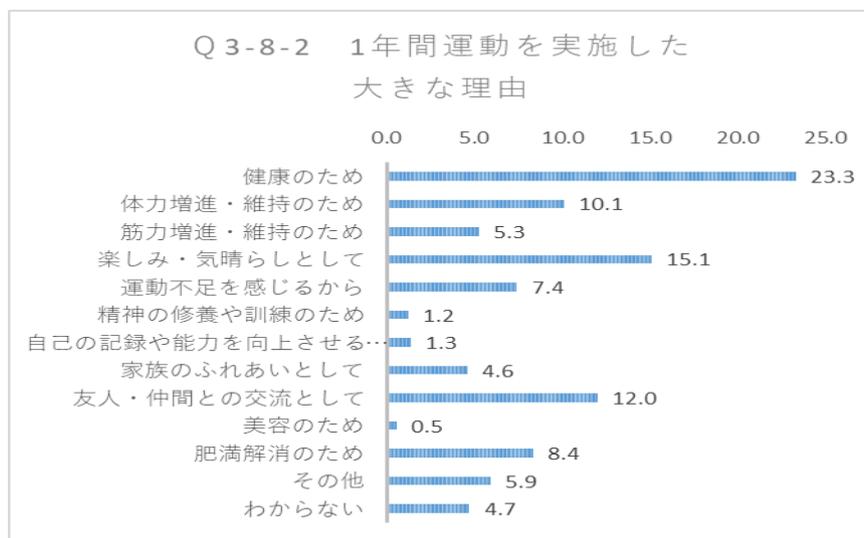
2019年スポーツ庁世論調査では、「健康のため」を挙げた者の割合が77.9%で最も高く、次いで「体力増進・維持のため」(58.3%)、「運動不足を感じるから」(52.2%)、「楽しみ、気晴らしとして」(46.8%)、「筋力増進・維持のため」(41.3%)の順となっており、本調査結果

と同様の傾向にあることがわかる。

性別に見ると、「運動不足を感じる」で女性は41.8%、男性は33.6%。「美容のため」では女性9.2%、男性1.8%。「肥満解消のため」では女性35.9%、男性28.9%といずれも女性が高い傾向にある。

年代別に見ると、30代から50代に比べて「健康のため」や「体力増進・維持のため」、「筋力増進・維持のため」の割合が60代以上の高年代ほど高い傾向がある。「健康のため」に関しては、30代から50代は40.0%~50.0%に比べ、60代から70代は60.0%以上で健康に気を使っていることがみられる。また、「楽しみ気晴らし」は20代が59.7%と最も高く、「友人・仲間との交流として」は20代(44.8%)だけでなく、60代(46.4%)、70代(53.2%)でも割合が高くなっている。

(9) 一年間運動を実施した最も大きい理由



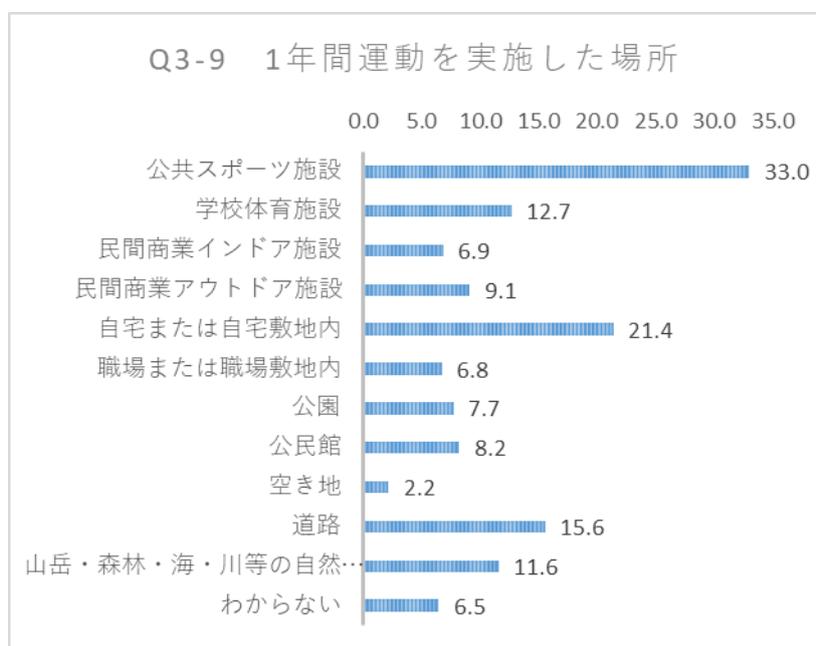
一年間運動を実施した最も大きい理由を聞いたところ、「健康のため」と回答した者が

23.3%と最も高かった。次いで、「楽しみ・気晴らしのため」(15.1%)、「友人・仲間との交流として」(12.0%)という順となっている。

性別にみると、「健康のため」と挙げた割合が女性は16.0%と、男性の17.5%のほうが高くなっている。また、「楽しみ・気晴らしとして」でも女性が9.3%、男性が12.6%と高い傾向にある。

年代別にみると、「健康のため」と挙げた割合で20代は10.0%、60代は29.1%と高年代ほど割合が高い傾向がある。また、「楽しみ・気晴らしのため」は60代が8.7%、20代が18.0%と若年層になるにつれ割合が高い傾向にある。

(10) この一年間で、実施した運動やスポーツはどこで行いましたか



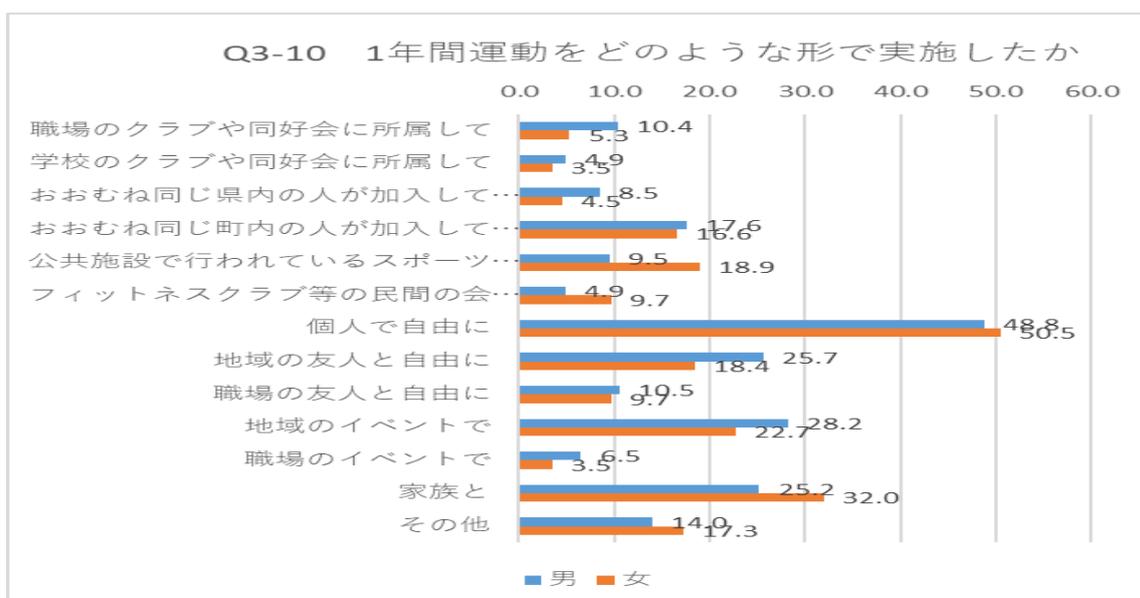
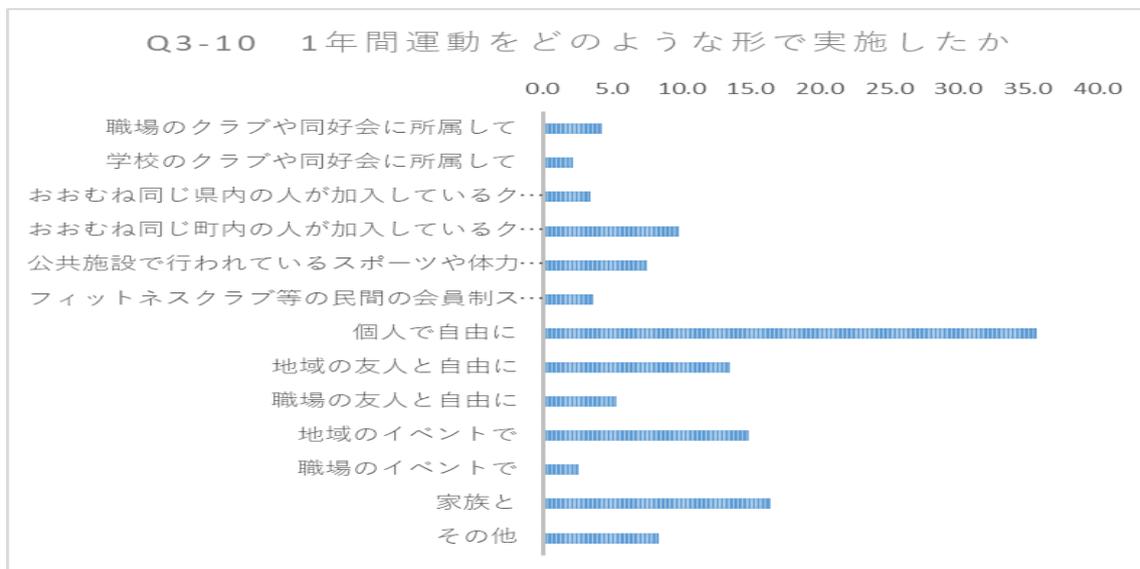
この一年間で、実施した運動やスポーツを行なった場所について聞いたところ、「公共スポーツ施設」を回答した者の割合が33.0%で最も高く、次いで「自宅または自宅敷地内」(21.4%)、「道路」(15.6%)、「学校体育館」(12.7%)の順となっている。

2019年スポーツ庁世論調査では、「道路」を挙げた者の割合が49.2%で最も高く、次いで「自宅または自宅敷地内」(26.5%)、「公園」(23.5%)、「公共体育・スポーツ施設」(19.6%)、「山岳・森林・海・湖・川等の自然環境」(17.3%)の順となっている。

加美町では、2019年スポーツ庁世論調査に比較して、「公共スポーツ施設」で運動やスポーツを実施した割合が高くなっている。

前回調査時においても、男女ともに「町内スポーツ施設」での実施が高い割合を示しており(男性52.1%、女性42.8%)、同様の傾向にあることがわかる。

(11) この一年間に、実施した運動やスポーツはどのような形で行いましたか。



この一年間に、実施した運動やスポーツはどのような形で行いましたかと聞いたところ、「自由に」と回答した者の割合が54.5%（「個人で自由に」35.7%+「地域の友人と自由に」13.5%+「職場の友人と」5.3%）となっている。次いで、「家族と」（16.5%）、「地域のイベントで」（14.9%）であった。

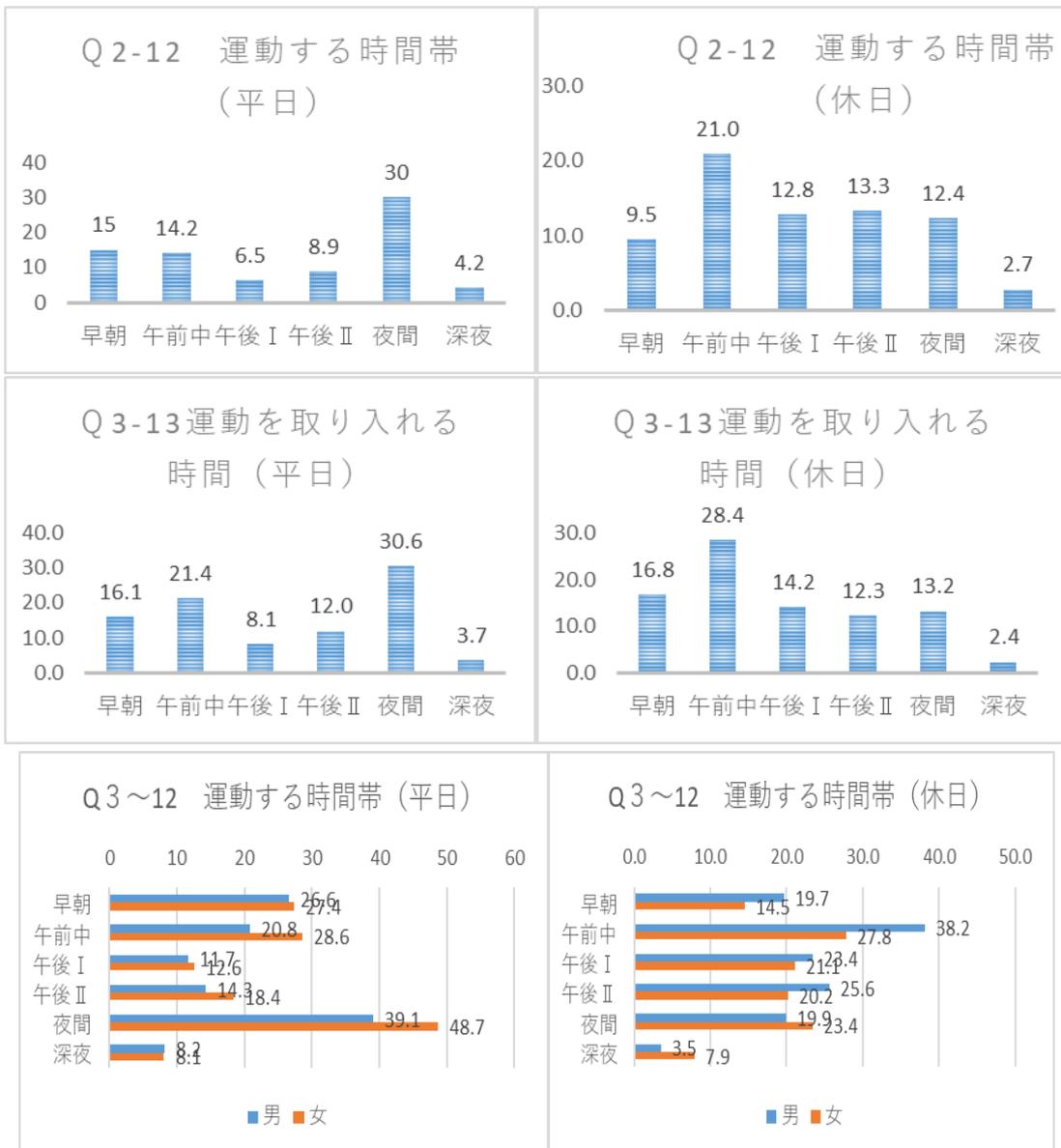
2019年スポーツ庁世論調査では、「個人で自由に」を挙げた者の割合が76.0%と最も高く、次いで「家族と」（19.3%）、「フィットネスクラブ等の民間の会員制スポーツクラブで」（10.8%）、「地域の友人と自由に」（10.6%）の順となっている。

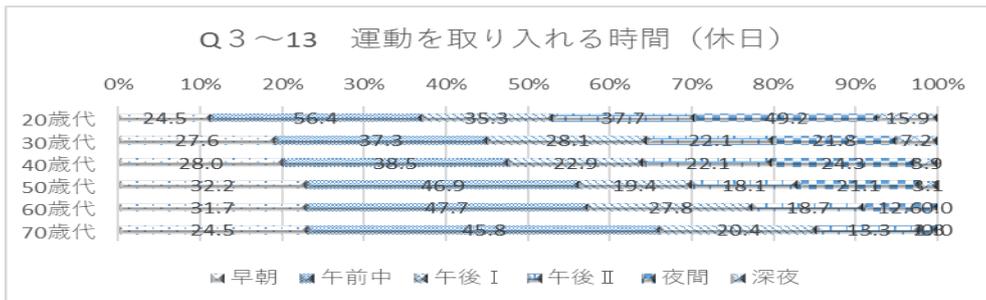
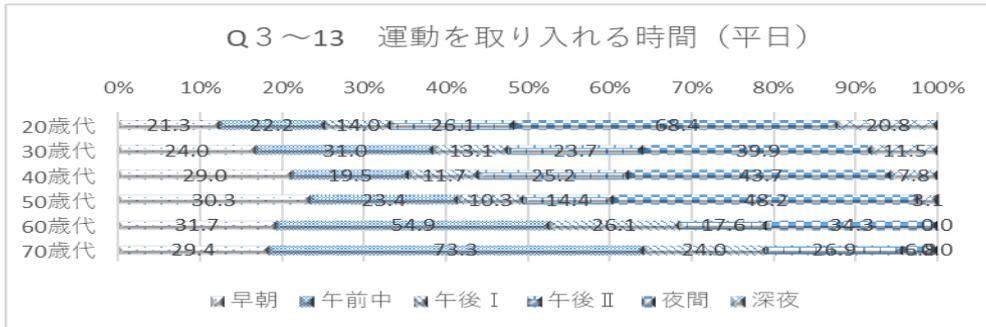
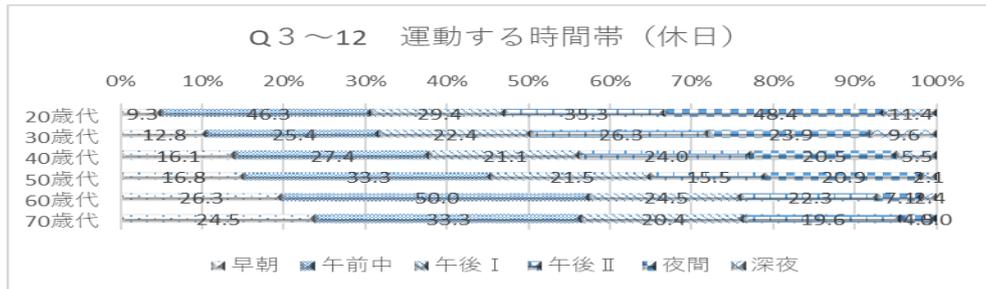
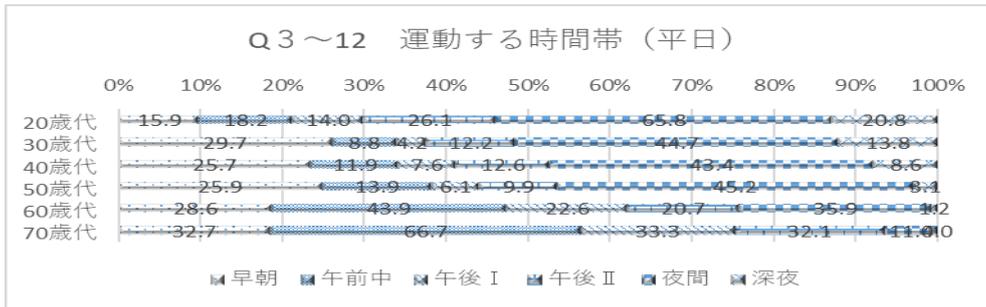
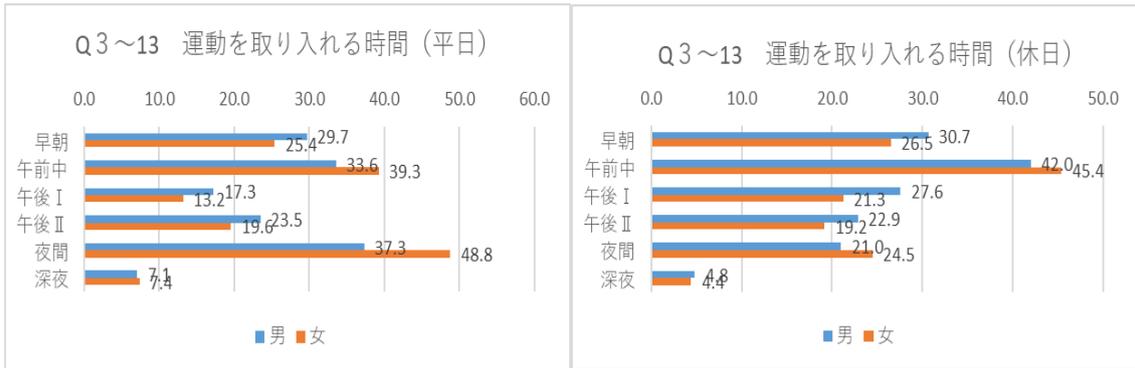
2019年スポーツ庁世論調査と同様に、「個人で自由に」の割合が高いものの、加美町では、「フィットネスクラブ等の民間の会員制スポーツクラブで」の割合が低くなっていることもわかる。

性別に見ると、男性は「地域の友人と自由に」が25.7%と割合が高く、女性は「公共施設で行われているスポーツや体力づくりの教室」18.9%や「家族と」32.0%と割合が高くなっている。

年代別に見ると、全国の実施形態では年代が高くなるほど「個人で自由に」の割合が高くなっているが、加美町では20代において「個人で自由に」の割合が74.3%と高い傾向にある。

(12) この一年間に行った運動・スポーツの実施時間帯





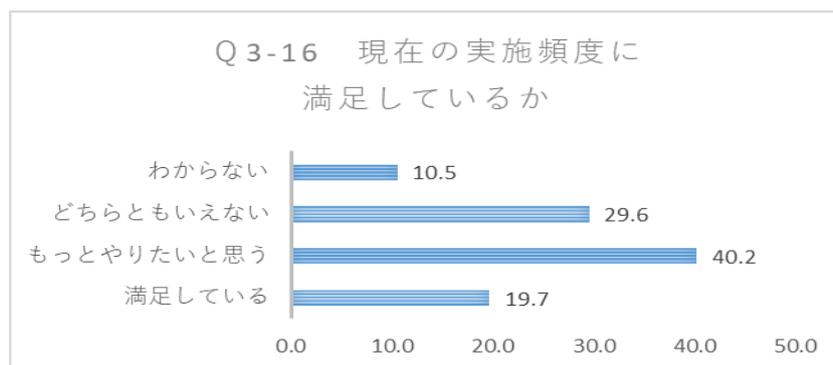
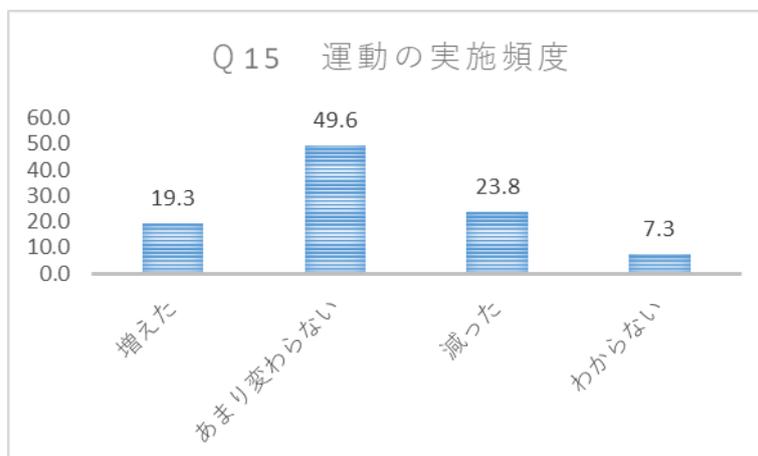
この一年間にどのような時間帯に運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、平日では「夜間（18：00～21：00）」が高く、休日では「午前中（9：00～12：00）」が最も高くなっている。

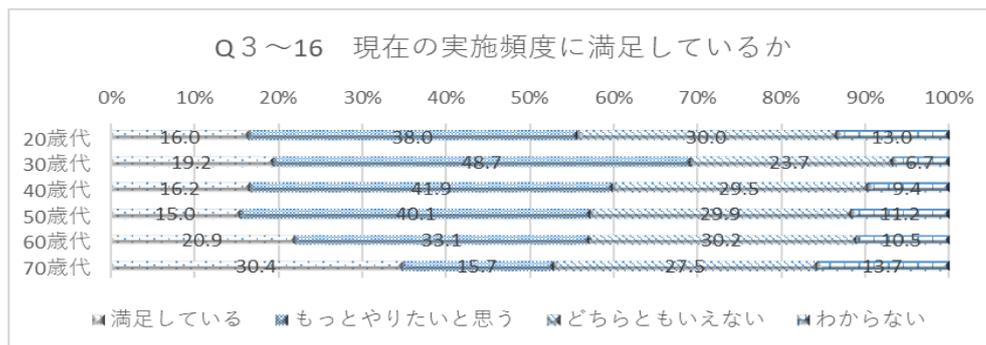
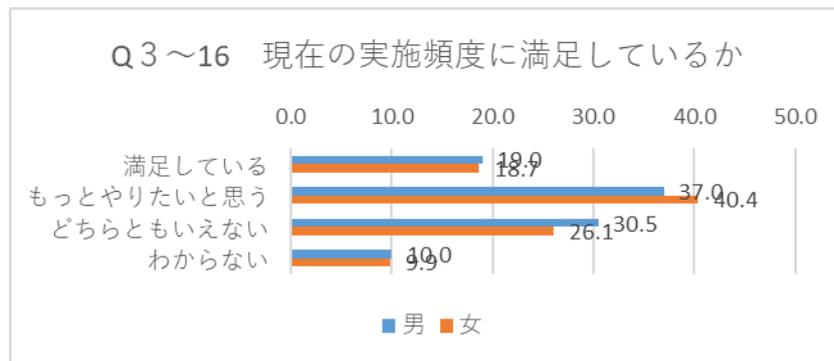
2019年スポーツ庁世論調査では、平日では「午前中（9：00～12：00）」、「昼間（12：00～15：00）」が高く、休日では「昼間（12：00～15：00）」が最も高くなっており、加美町は、この結果と比較して、平日日中の割合が低く、夜間の割合が高くなっている。

性別に見ると、平日・休日ともに「夜間（18：00～21：00）」は女性の割合が48.0%以上と高くなっている。

年代別に見ると、平日・休日ともに「早朝（5：00～9：00）」、「午前中（9：00～12：00）」は年代が高くなっていくと、それに比例して早朝・午前中の実施率が高くなっていく。

(13) 運動・スポーツの実施頻度の満足度



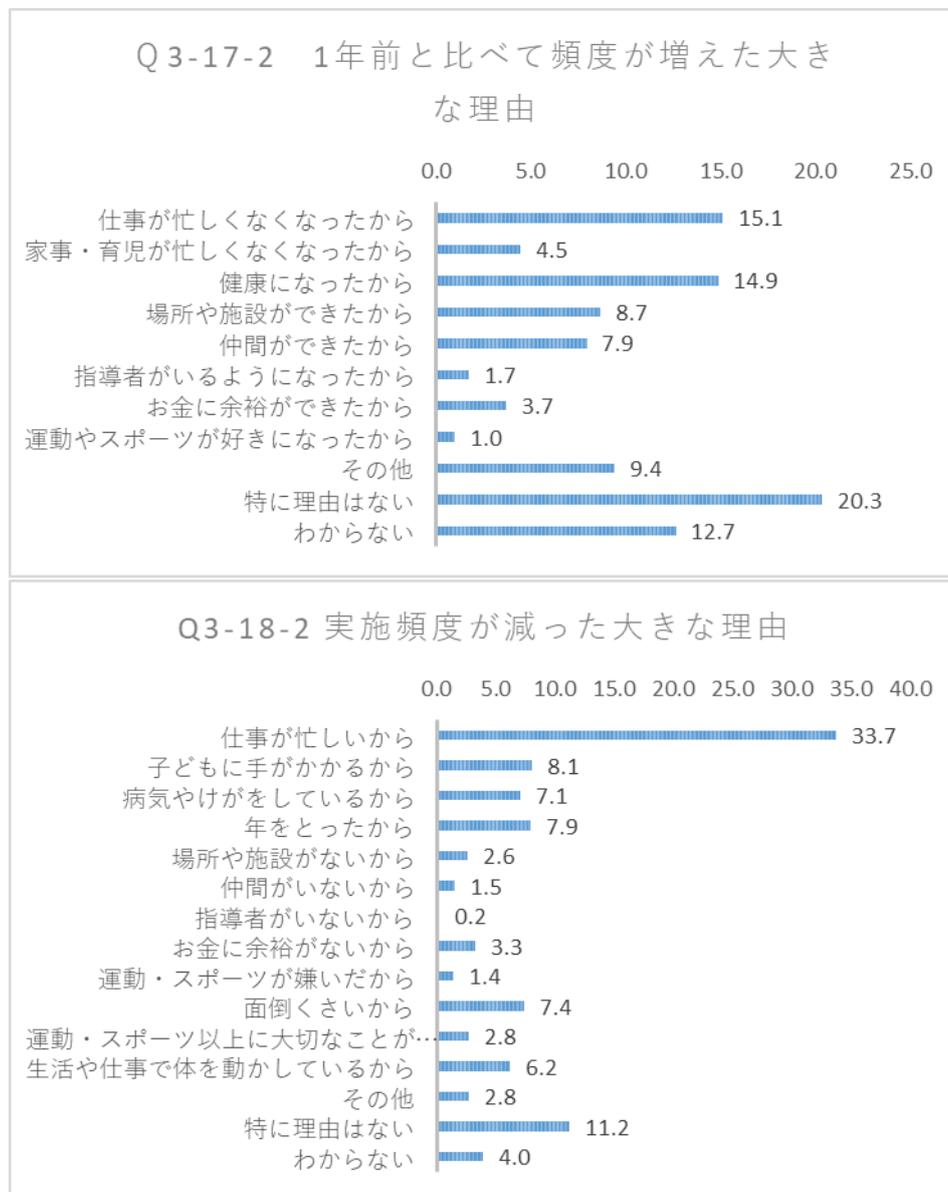


あなたは、現在の運動やスポーツの実施頻度に満足していますかと聞いたところ、「もっとやりたい」(40.2%)と最も高い割合を示していた。「満足している」は19.7%となっており、2019年スポーツ庁世論調査(15.9%)よりも高い割合となっている。

性別に見ると、「もっとやりたいと思う」と挙げる割合が男性が37.0%、女性が40.4%と高い割合を示している。

年代別に見ると、実施頻度に「満足している」割合は70代が唯一30.0%を超えており、「もっとやりたいと思う」割合は30代が48.7%と最も高くなっている。

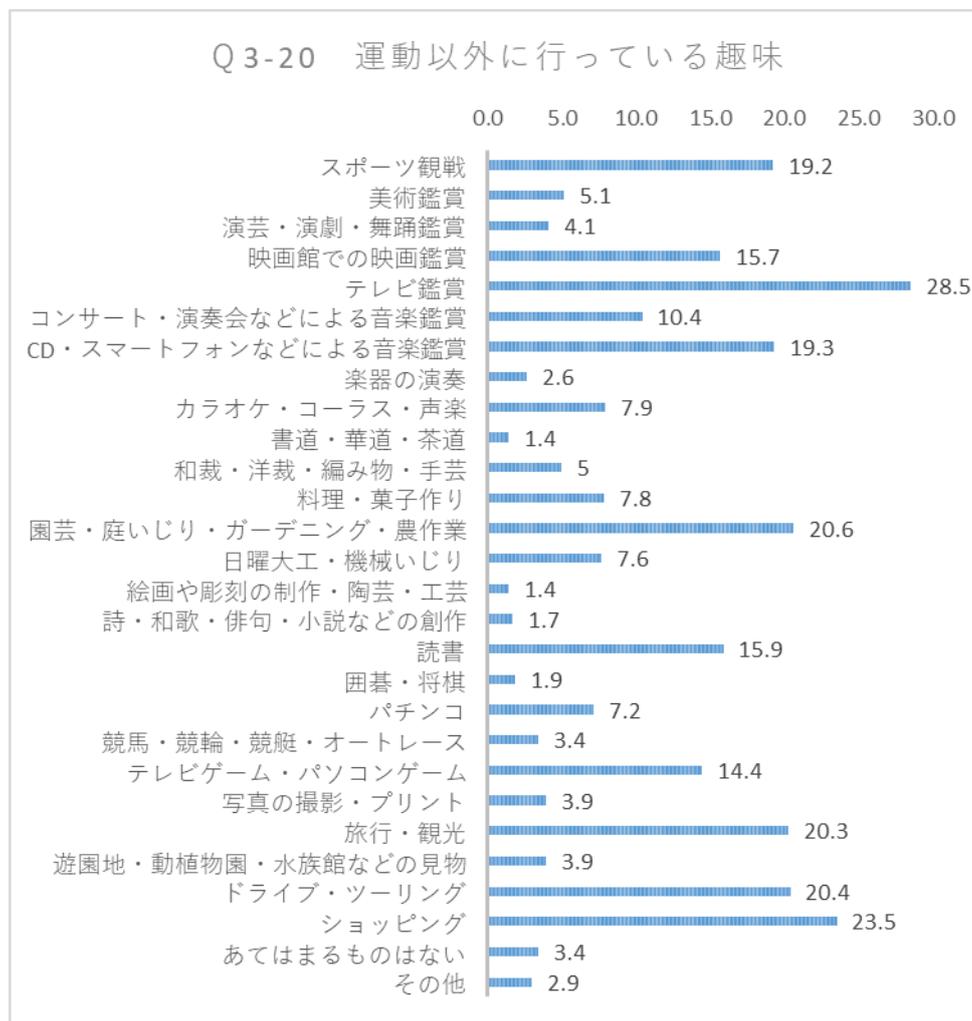
(14) 実施頻度が増えた、または減った最も大きな理由

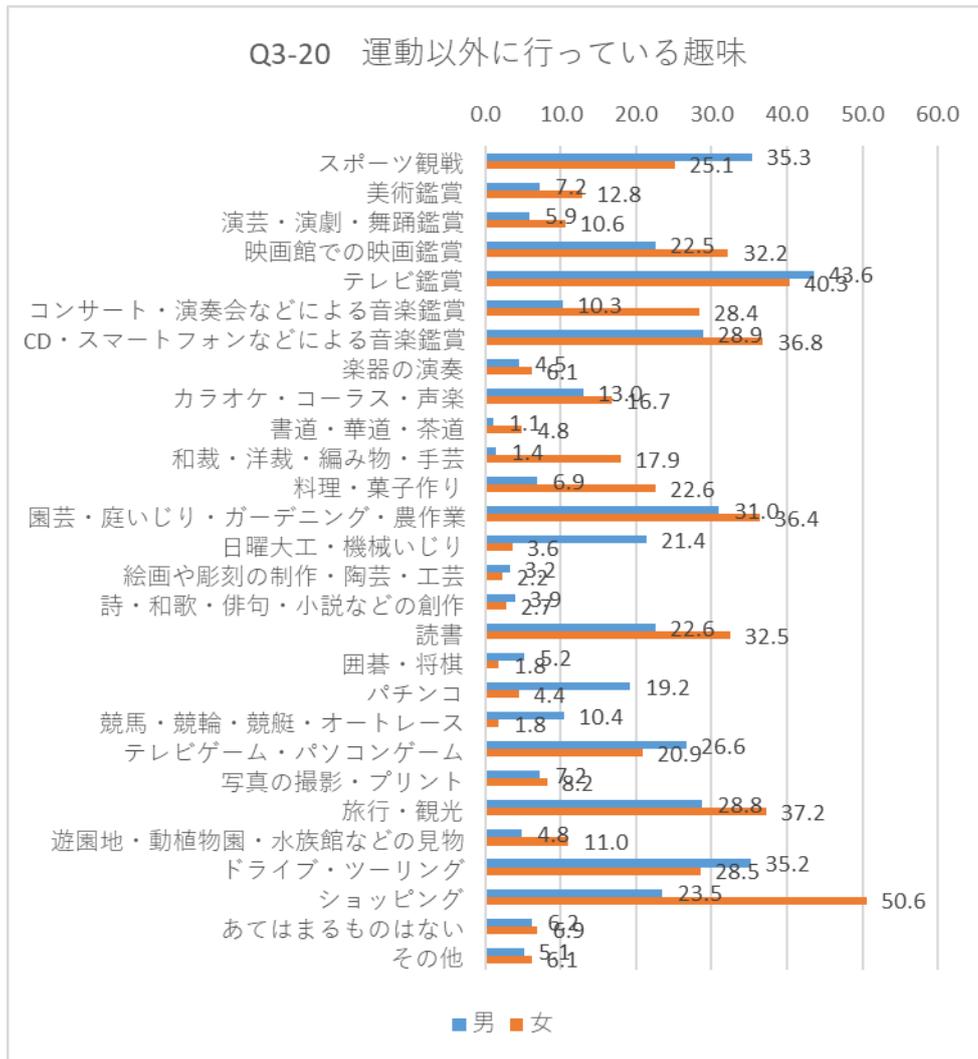


実施頻度が減った最も大きな理由を聞いたところ、「仕事が忙しいから」と挙げた者の割合が 33.7%と最も高かった。実施頻度が増えた大きな理由を聞いたところ、「仕事が忙しくなくなったから」と回答した者の割合が 15.1%となっており、実施頻度には仕事が大きく関係していることがみられる。

2019年スポーツ庁世論調査においても、実施頻度が増加した理由として、「仕事が忙しくなくなったから」を回答した者の割合が 26.8%で最も高く、加美町も同様の傾向にあることがわかる。

(15) 運動・スポーツを実施する以外に日頃行っている趣味・娯楽





運動・スポーツを実施する以外に日頃行っている趣味・娯楽を聞いたところ、「テレビ鑑賞（スポーツ観戦や映画・演芸等の鑑賞）」（28.5%）を回答した者の割合が最も高い。

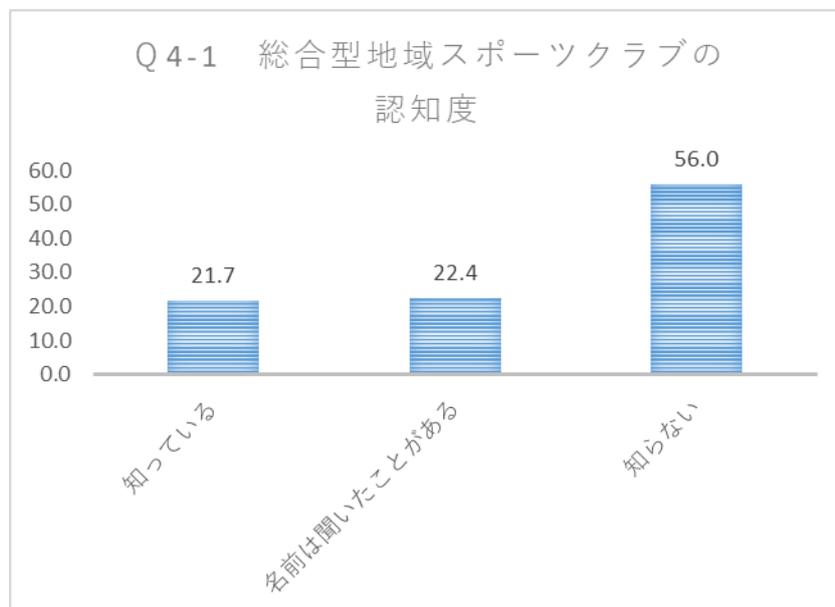
2019年スポーツ庁世論調査においても、「テレビ鑑賞（スポーツ観戦や映画・演芸等の鑑賞）」と回答した者の割合が43.7%で最も高く、次いで「旅行・観光（日帰り含む）」（36.4%）となっており、加美町も同様の傾向にあることがわかる。

性別にみると、「スポーツ観戦」の割合が女性（25.1%）より男性（35.3%）の割合のほうが高い傾向がある。

年代別にみると、女性で回答が多かった「ショッピング」（50.6%）のうち、最も高い割合を示したのは20代（53.3%）であった。

3. 総合型地域スポーツクラブについて

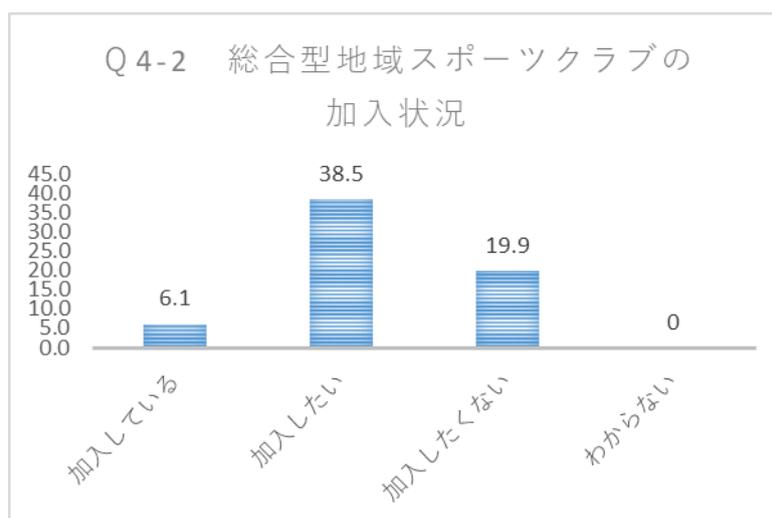
(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

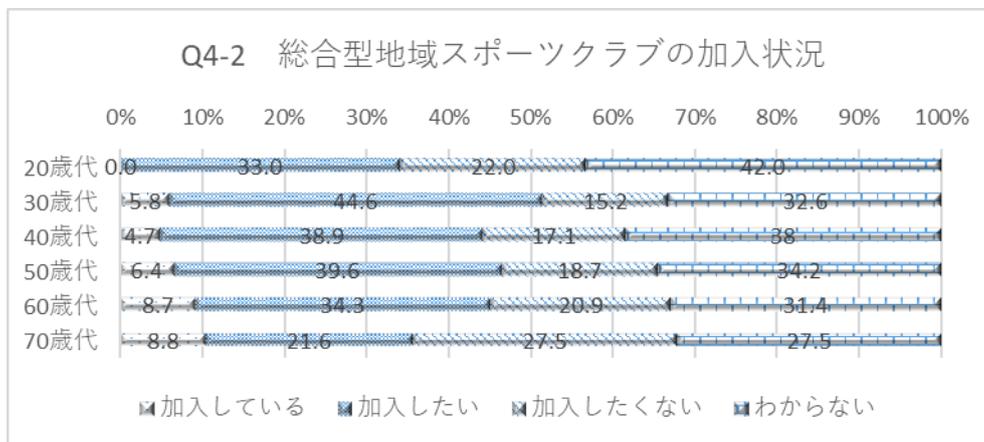
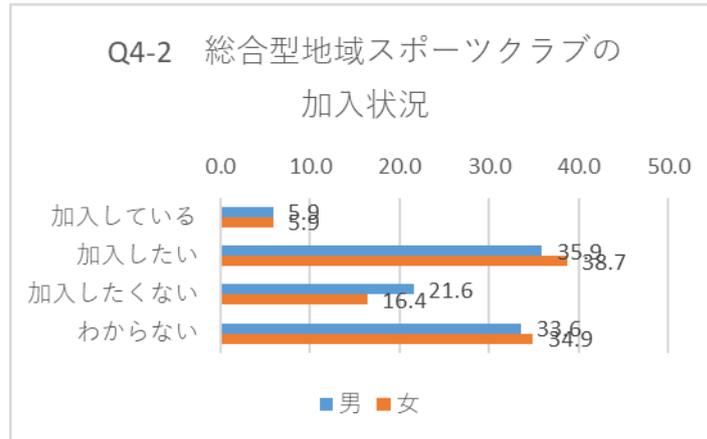


「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますかと聞いたところ、「知らない」と回答した者の割合が 56.0%と最も高く、2人に1人以上は、「総合型地域スポーツクラブ」の存在を知らない状況にあることがわかる。

前回調査時には、男女ともに「知らない」と回答した割合が 60%を超えていたものの、クラブの認知度は今回の調査でも依然として低い状況にあることがわかる。

(2) 「総合型地域スポーツクラブ」に加入しているか





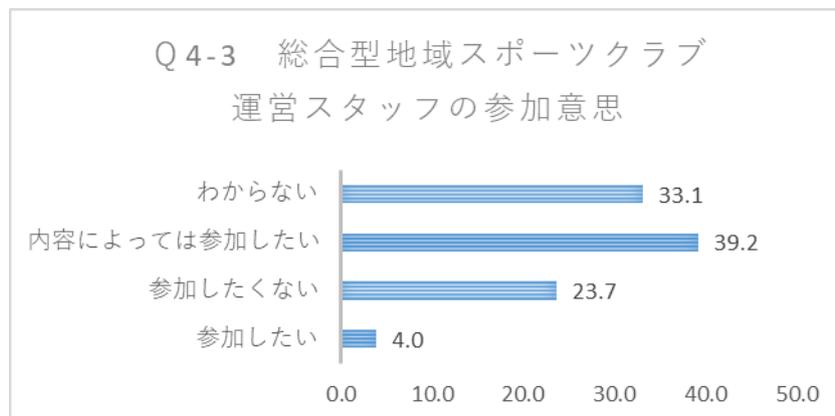
「総合地域型スポーツクラブ」に加入しているか、または加入していなかった場合加入したいか聞いたところ、「加入している」と挙げた者の割合が 6.1%と非常に低い割合となっている。一方で、加入していない者で「加入したい」と回答した者の割合は 38.5%と高い割合を示している。

性別にみると、「加入したい」と挙げた者の割合が高かったのは 38.7%の女性で（男性は 35.9%）、「加入したくない」と挙げた割合が高かったのは 21.6%と男性であった（女性は 16.4%）。

年代別にみると、20代の「加入している」割合が 0%で、30代（5.8%）、50代（6.4%）、70代（8.8%）と、年代が上がるにつれて「加入している」割合が増えているものの、その割合は全体として非常に低くなっている。

前回調査時には、「加入したい」、「やりたい種目があれば加入したい」と回答した割合の合計が 58%となっており、今回の調査では、全体として「加入したい」と回答した割合が低くなっていることがわかる。また、前回調査時において「加入したくない」と回答した割合は、13.7%であり、今回の調査では 19.9%とこの割合が高くなっていることがわかる。

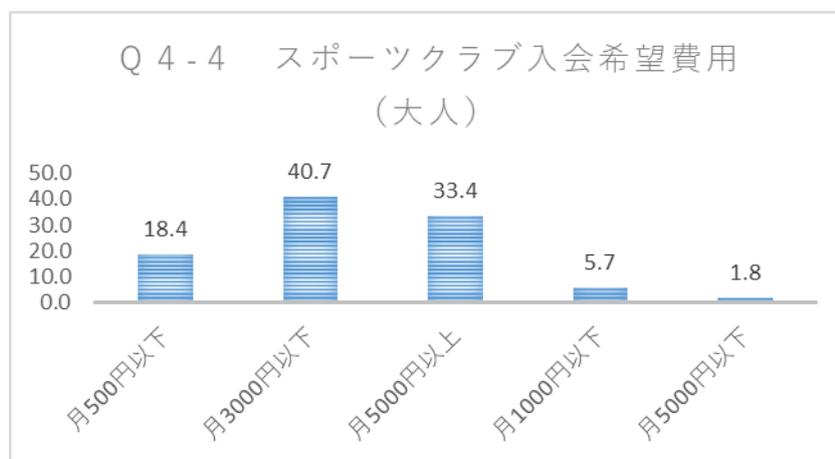
(3) 「総合型地域スポーツクラブ」の運営などを行うスタッフに参加したいか

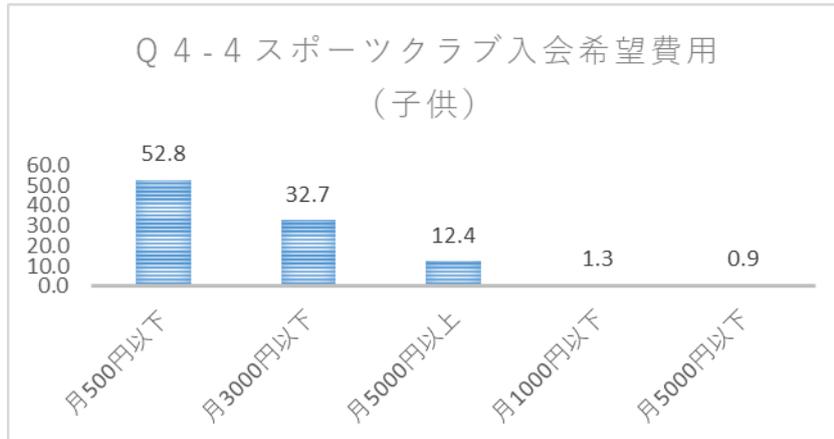


総合型地域スポーツクラブの運営などを行うスタッフに参加したいかを聞いたところ、「内容によっては参加したい」と挙げた者の割合が39.2%と最も高く、次いで、「わからない」(33.1%)、「参加したくない」(23.7%)となっている。

「内容によっては参加したい」という者も多いが、それに比べて「わからない」という者も多く、「総合型地域スポーツクラブ」の認知度が低いことがうかがえる結果となっている。

(4) 「総合型地域スポーツクラブ」に加入時の適当な会費

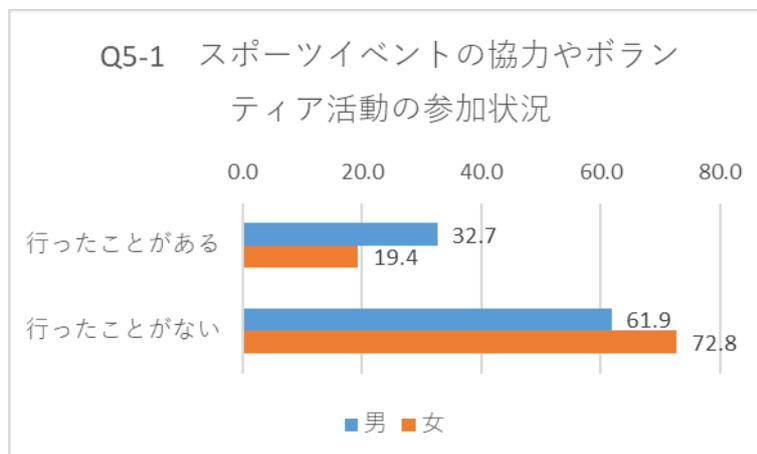
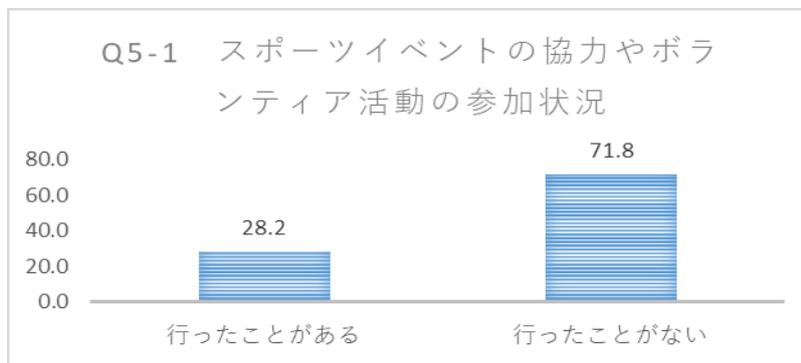


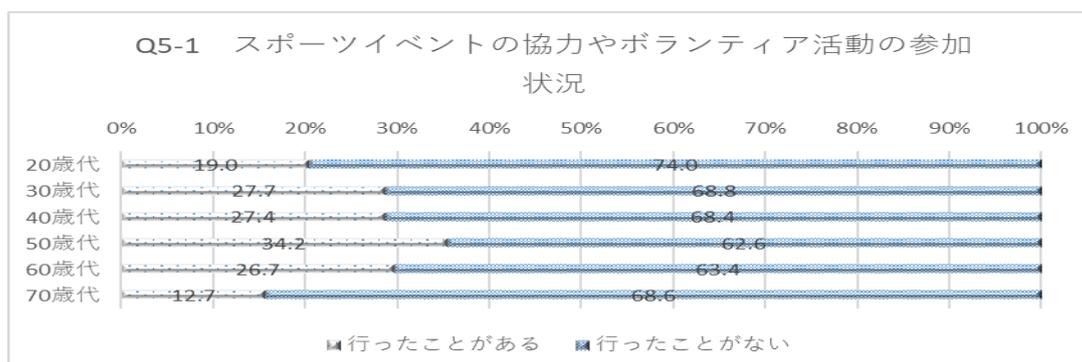


「総合型地域スポーツクラブ」に入るとしたらどのくらいの会費が適当ですかと聞いたところ、大人は「月 3000 円以下」が最も高く、子供は「月 500 円以下」と回答した者の割合が高かった。

4. スポーツボランティア・スポーツイベントについて

(1) スポーツの指導やスポーツイベントの協力など、スポーツに関するボランティア活動を行ったことがあるか





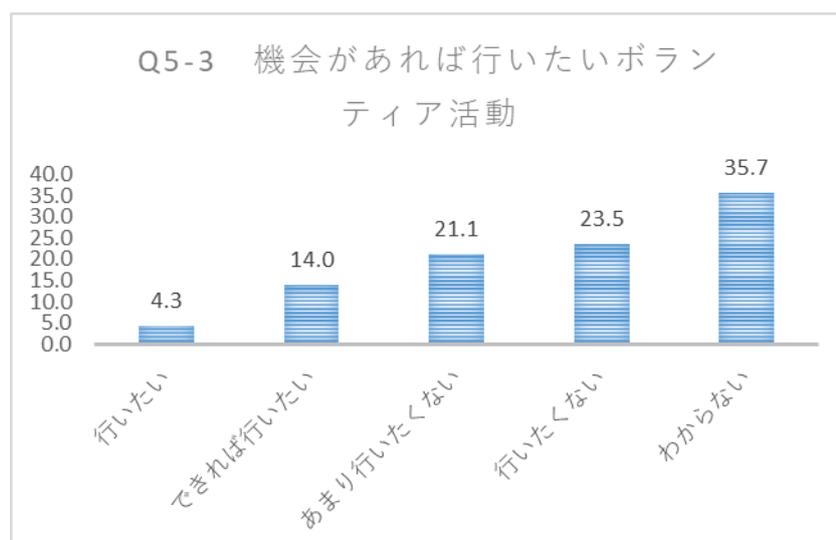
あなたはスポーツの指導やスポーツイベントの協力など、スポーツに関するボランティア活動を行ったことがありますかと聞いたところ、「行ったことがない」と挙げた者の割合が71.8%とボランティアの参加率が低いことがみられる。

2019年スポーツ庁世論調査では、「ボランティアを行った」とする割合は10.6%（「日常的・定期的に行った」4.1%+「イベント・大会で不定期に行った」6.5%）、「行っていない」割合は84.9%、「わからない」割合は4.5%となっている。加美町のスポーツに関するボランティア活動については、この調査結果に比べ、「行なったことがある」と回答した割合が若干高い割合を示している。

性別に見ると、「行ったことがある」割合は女性が19.4%、男性が32.7%と男性の割合のほうが高くなっている。

年代別に見ると、「行ったことがない」割合は20代が74.0%と高く、「行ったことがある」割合は30代～60代が高くなっている。

(2) 機会があれば、スポーツに関するボランティア活動に参加したいか

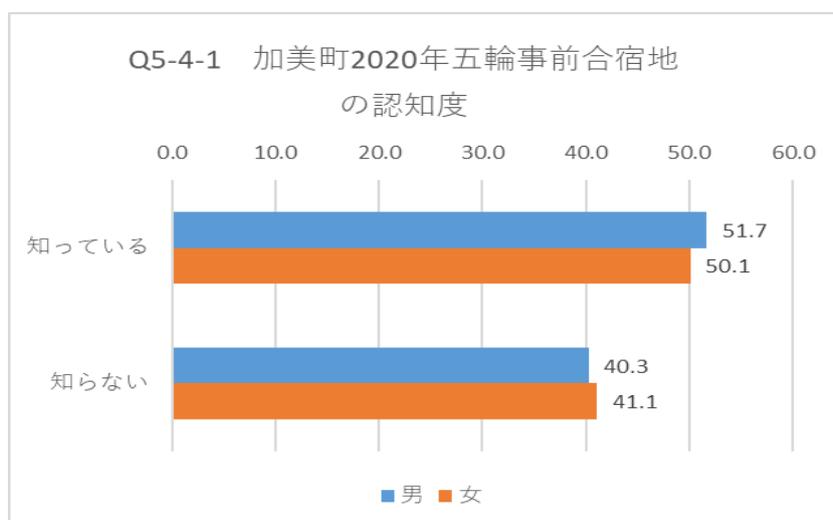
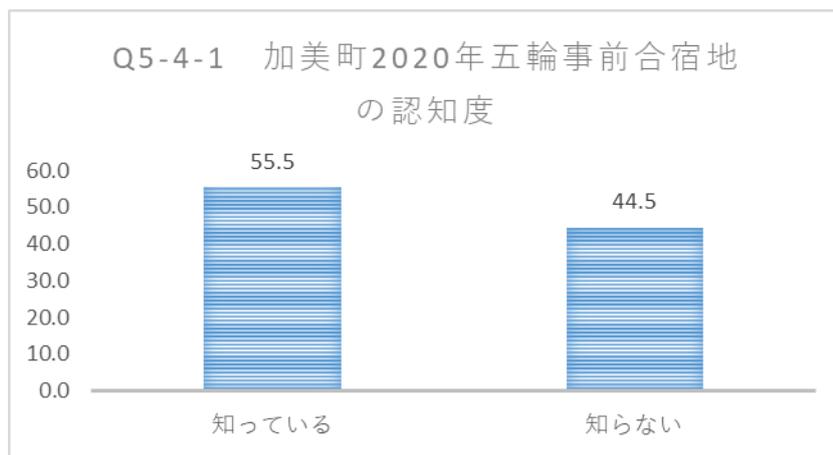


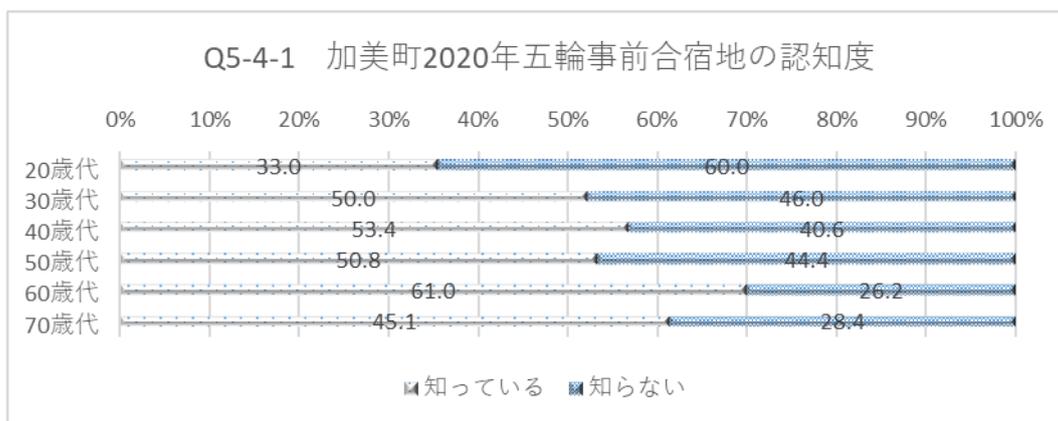
あなたは機会があれば、スポーツに関するボランティア活動に参加したいですかと聞いたところ、「行きたい」と回答した者の割合が18.3%（「行きたい」4.3%+「できれば行きた

い」14.0%)のに対して、「行いたくない」と回答した者の割合が44.6%（「あまり行きたくない」21.1%+「行きたくない」23.5%）となっている。

「その他」と回答した者の理由として、「年齢的に厳しい」、「仕事が不規則であり不定休のため出来ない」、「内容による」という回答があった。

(4) 加美町が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたチリ代表パラリンピック選手団の事前合宿地になっていることを知っているか



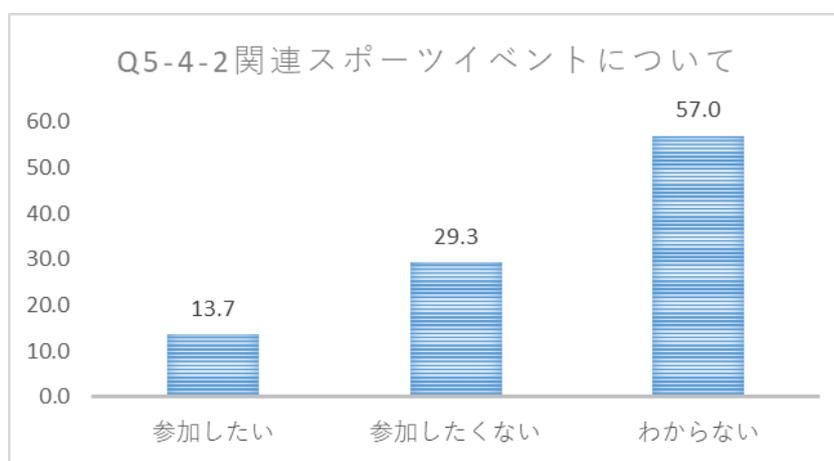


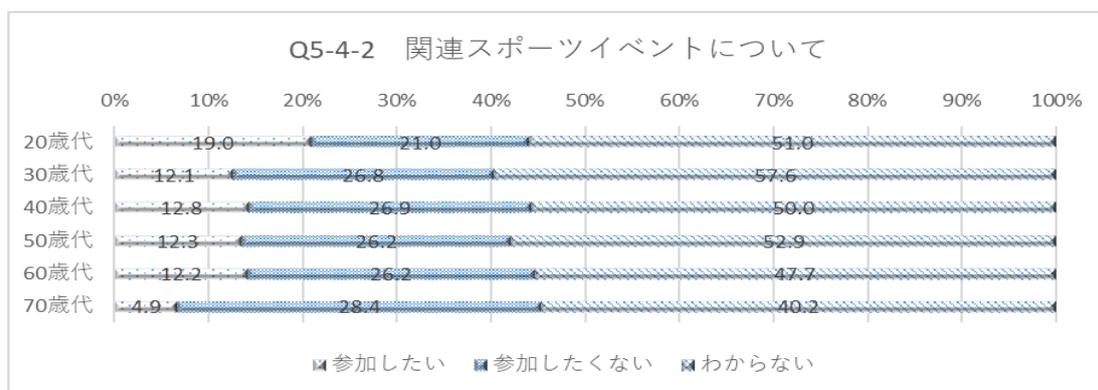
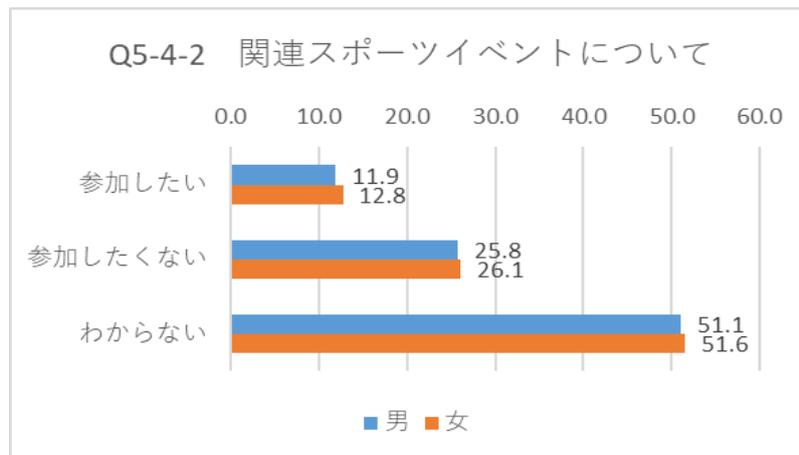
あなたは加美町が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたチリ代表パラリンピック選手団の事前合宿地になっていることを知っていますかと聞いたところ、「知っている」と回答した者の割合が55.5%となっている。

性別にみると、認知度に男女差は見られなかった。

年代別にみると、「知っている」と答えた割合が40代が53.4%、60代が61.0%と高年代ほど高くなっている。

(5) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関連したスポーツイベントがあれば参加したいか





2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関連したスポーツイベントがあれば参加したいですかと聞いたところ、「わからない」と回答した者の割合が57.0%と最も高く、次いで「参加したくない」(29.3%)、「参加したい」(13.7%)となっている。

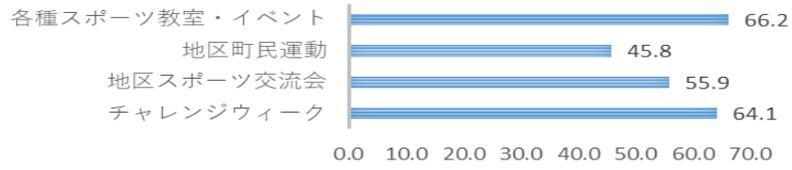
性別にみると、「参加したい」、「参加したくない」に男女差は見られなかった。

年代別にみると、70代だと「参加したい」という割合が5.0%以下と低い傾向にある。対照的に、20代は19.0%となっており、スポーツイベントへの意欲があることがうかがえる。

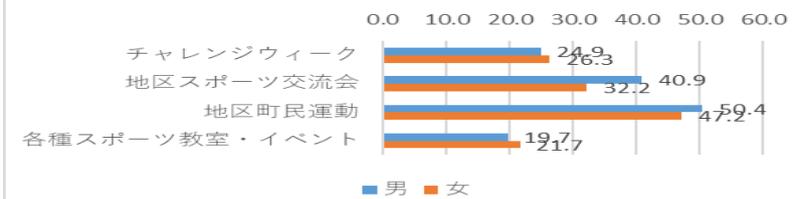
(6) あなたはこの1年間に、町や地域で行われているスポーツやレクリエーション行事に参加したか



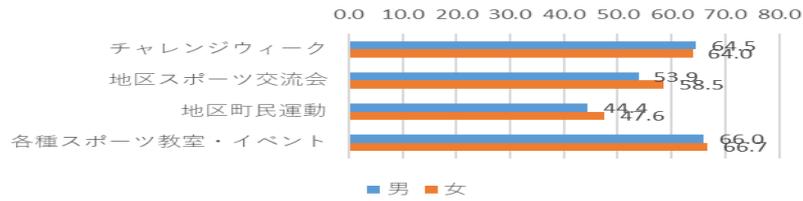
Q 6-1 町や地域でのスポーツ行事の
不参加状況



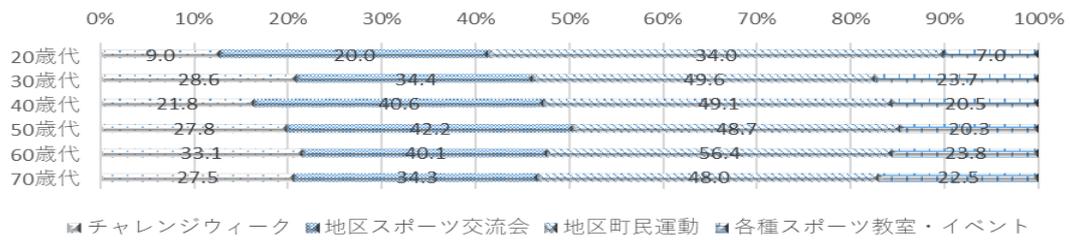
Q 6-1 町や地域でのスポーツ行事の
参加状況

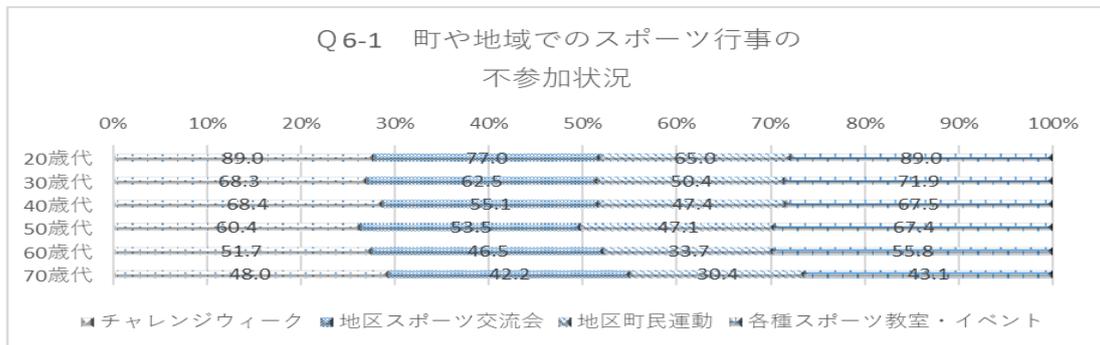


Q 6-1 町や地域でのスポーツ行事の
不参加状況



Q 6-1 町や地域でのスポーツ行事の
参加状況





あなたはこの1年間に、町や地域で行われているスポーツやレクリエーション行事に参加しましたかと聞いたところ、「地区町民運動」と挙げた者の割合が48.7%と最も高い割合となった。不参加状況としては、「各種スポーツ教室・イベント」が66.2%で最も高くなっている。

性別にみると、男女差に大きな差は見られなかった。

年代別にみると、20代と若年層の不参加状況が60.0%～90.0%と高い傾向にある。

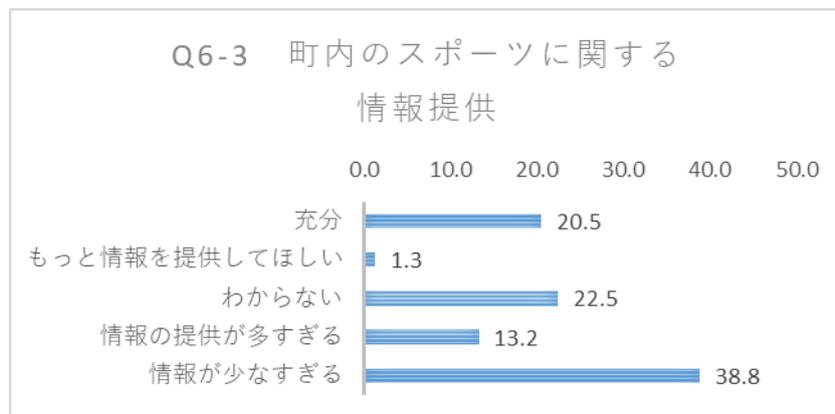
前回調査時においても「町民運動会」が45%と高い割合にあり、今回の調査と同様の傾向にあったことがわかる。一方で、チャレンジウィークに関しては、今回の調査では、参加したと答えた割合が25.6%となっており、前回調査時（チャレンジデー45.1%）に比べ、低くなっていることがわかる。

(7) 町が行っているスポーツへの取り組みの満足度

Q6-2 あなたは町が行っているスポーツへの取り組みについて満足していますか。	満足			やや満足			どちらでもない			やや不満			不満		
	全体	件数	割合	全体	件数	割合	全体	件数	割合	全体	件数	割合	全体	件数	割合
スポーツ施設の数	1020	174	17.1	1020	195	19.1	1020	469	46.0	1020	63	6.2	1020	42	4.1
スポーツ施設の使用方法	1020	129	12.6	1020	179	17.5	1020	532	52.2	1020	67	6.6	1020	31	3.0
学校体育施設の開放	1020	110	10.8	1020	185	18.1	1020	559	54.8	1020	56	5.5	1020	20	2.0
シャワー・ロッカールームなどの付帯	1020	56	5.5	1020	77	7.5	1020	616	60.4	1020	115	11.3	1020	64	6.3
指導者についての情報提供	1020	60	5.9	1020	91	8.9	1020	637	62.5	1020	96	9.4	1020	42	4.1
指導者の養成	1020	43	4.2	1020	67	6.6	1020	687	67.4	1020	88	8.6	1020	44	4.3
スポーツ教室	1020	68	6.7	1020	104	10.2	1020	672	65.9	1020	61	6.0	1020	27	2.6
各種スポーツ大会	1020	70	6.9	1020	155	15.2	1020	646	63.3	1020	31	3.0	1020	24	2.4
スポーツ交流の行事	1020	68	6.7	1020	144	14.1	1020	666	65.3	1020	29	2.8	1020	19	1.9
スポーツクラブ・サークルの育成	1020	36	3.5	1020	70	6.9	1020	750	73.5	1020	49	4.8	1020	22	2.2
スポーツ相談	1020	53	5.2	1020	77	7.5	1020	728	71.4	1020	43	4.2	1020	27	2.6

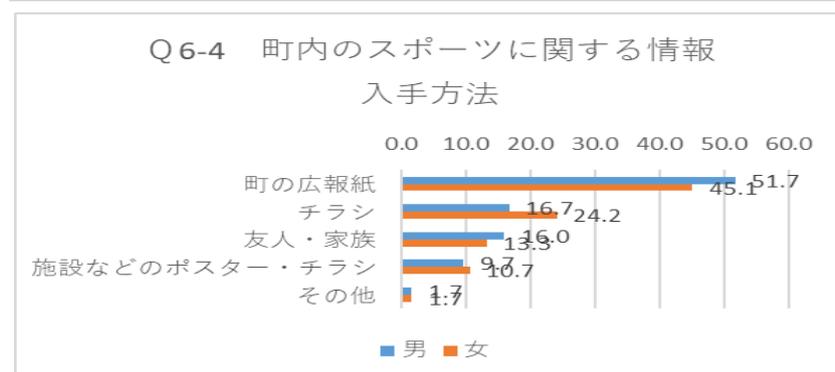
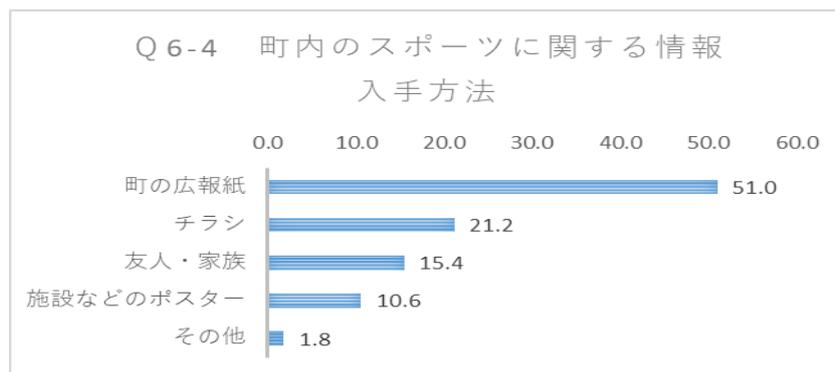
あなたは町で行っているスポーツへの取り組みについて満足していますかと聞いたところ、どの取り組みに対しても「どちらでもない」と挙げた者が最も高い割合となっている。

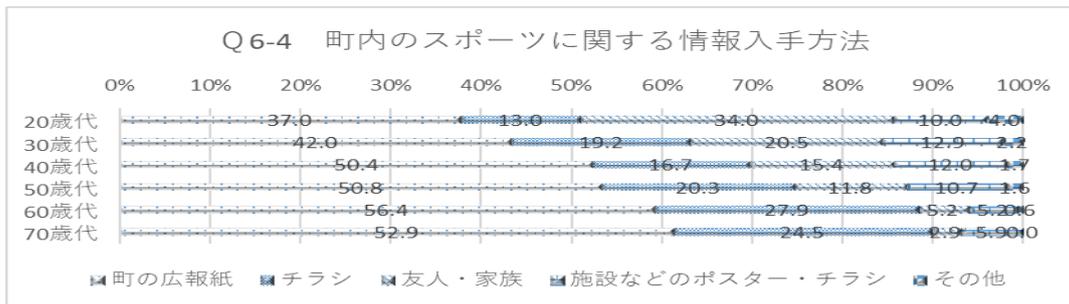
(8) あなたは町が行っている運動やスポーツに関する情報の提供について



あなたは町が行っている運動やスポーツに関する情報の提供は充分だと思いますかと聞いたところ、「情報が少なすぎる」と回答した者の割合が38.8%と最も高くなっている。

(9) あなたは町内の運動やスポーツについての情報を何で知るか



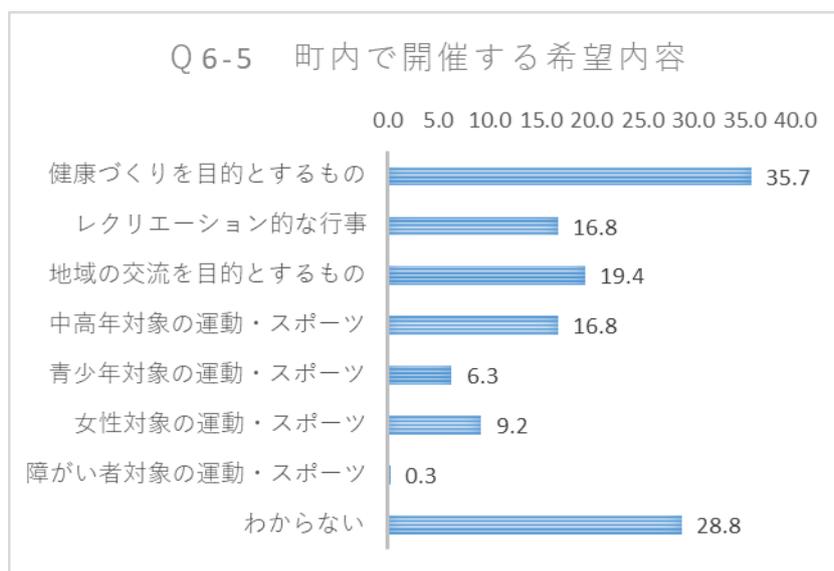


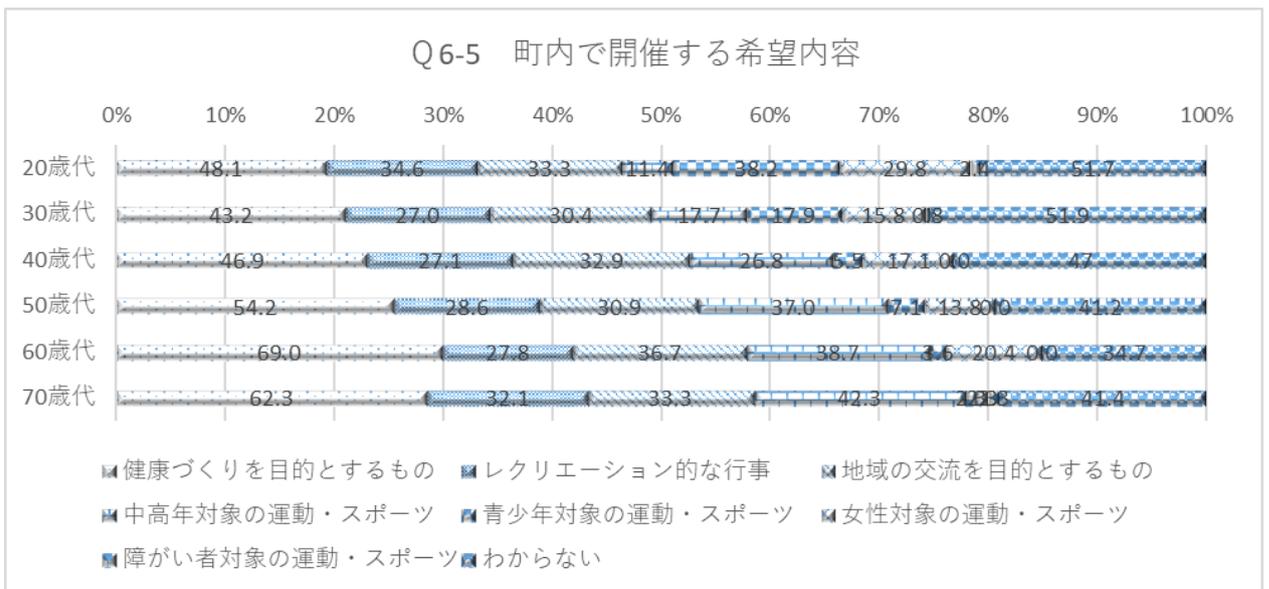
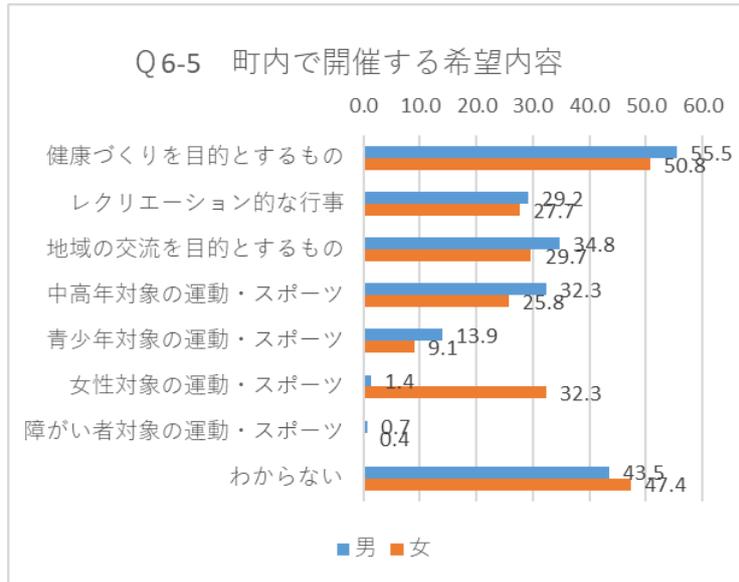
あなたは町内の運動やスポーツについての情報を何で知りますかと聞いたところ、「町の広報誌」と回答した者の割合が 51.0%と高く、次いで「チラシ」(21.2%)、「友人・家族」(15.4%) となっている。

性別にみると、「町の広報誌」の割合が高いのが男性で 51.7%、「チラシ」の割合が高いのが女性の 24.2%となっている

年代別にみると、20代から30代、40代と高年代になるにつれ「町の広報誌」や「チラシ」といった情報入手方法の割合が高くなっている。

(10) あなたは町内のスポーツイベントやスポーツ教室、研修会についてどのような内容のものを開催してほしいですか。



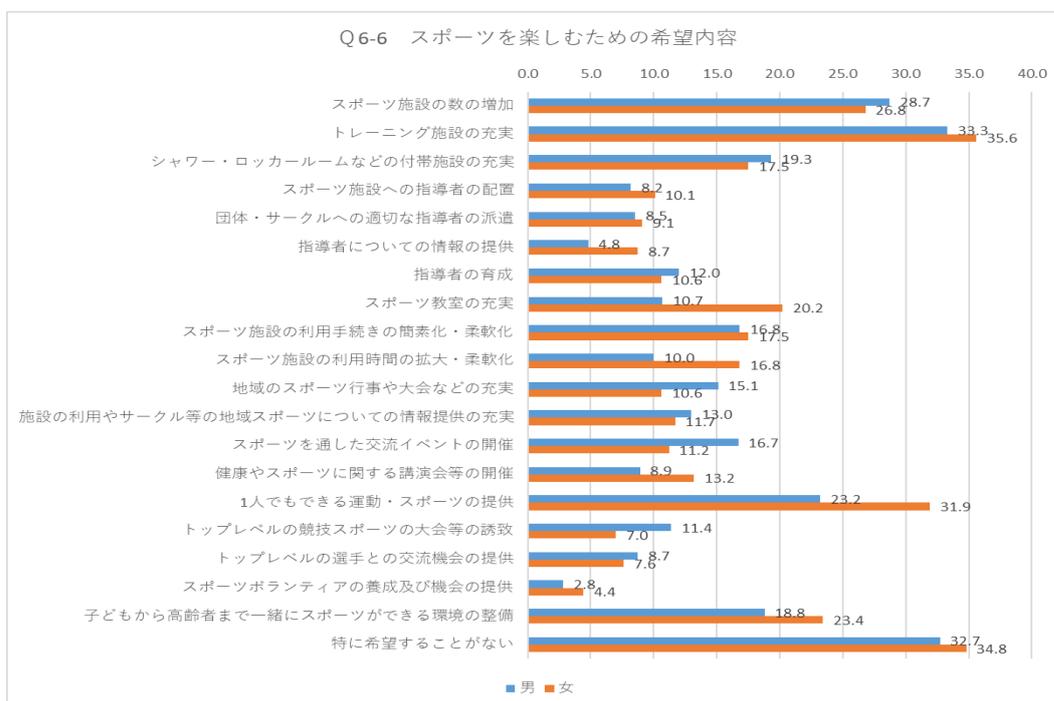
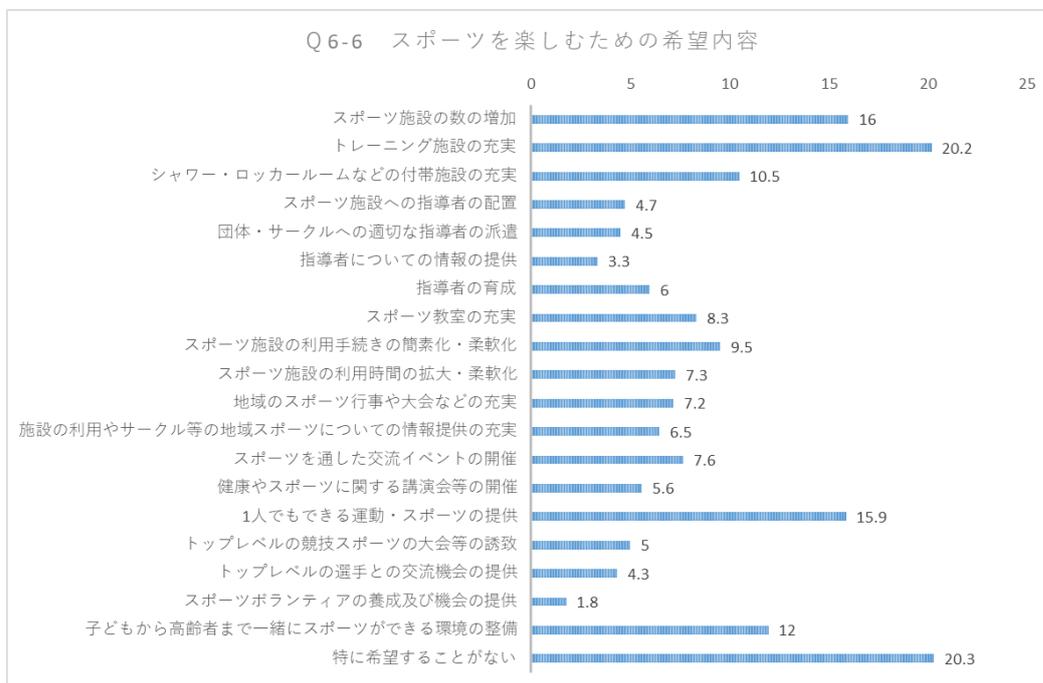


あなたは町内のスポーツイベントやスポーツ教室、研修会についてどのような内容のものを開催してほしいですかと聞いたところ、「健康づくりを目的とするもの」と挙げた者の割合が35.7%と最も高く、次いで「地域の交流を目的とするもの」(19.4%)、「中高年対象の運動・スポーツ」と「レクリエーション的な行事」(16.8%)となっている。

性別にみると、女性が32.3%と「女性対象の運動・イベント」を求めていることがみえる。また、男女ともに「健康づくりを目的とするもの」と挙げた割合が50.0%以上と、健康に気を使っていることがみられる。

年代別にみると、年齢が上がるにつれて「健康づくりを目的とするもの」の割合が高くなっている。

(11) あなたはこれから、よりよく運動やスポーツを楽しむためには



あなたはこれから、よりよく運動やスポーツを楽しむためには、どのようなことを希望しますかと聞いたところ、「トレーニング施設の充実」が20.2%、「スポーツ施設数の増加」が16%、「シャワー・ロッカールームなど」が10.5%であり、施設整備に対する希望の割合が高かった。また、「1人でもできる運動・スポーツの提供」(15.9%)といった回答内容も高い割合を示している。

またスポーツを楽しむために希望する内容として、「スポーツクラブの充実」や町民に対する「施設の無料開放」に関する意見があった。

性別にみると、男性との差が大きかった「1人でもできる運動・スポーツの提供」を挙げる女性の割合が31.9%と高い傾向にある。

年代別にみると、20代で「スポーツ施設の増加」、「トレーニング施設の増加」を挙げる者の割合で唯一40.0%を超えており、運動を行うための環境に不満があるとみられる。